

藤井寺 高
永心 大か

93

創立20周年記念誌 平成5年

大阪府立 藤井寺高等学校

創立二十周年 記念誌







創立20周年を迎えて

校長 油上良蔵

藤井寺高校が呱呱の声をあげて、今年で20年になります。

はるか見渡せば、生駒、信貴、二上、葛城、金剛の山々。間近には、応神天皇陵をはじめとする数々の古墳の森。また四季の移ろいにたたずまいを変えてゆく大和川の岸辺。そして校舎周辺には野鳥のさえずる田園風景などなど。今も変わることなく恵まれた教育環境の中で、藤高生は今日も伸びやかに、そして明るく勉学にクラブ活動にと励んでいます。

20年の間に本校を巣立った卒業生は1万名に達せんとし、今や有為の人材として各界で活躍しています。1学年12クラスで全36クラスを擁する本校の在校生千五百余名も、これら諸先輩に続くべく、日々頑張っています。もとより本校としても、早くから充実した教育活動ときめの細かい進路指導を実践してまいりましたが、その甲斐あって、近年はめざましい成果が上がり、今日かくも隆盛を見るに至りました。このことは、ひとえに歴代校長先生をはじめとする各教職員のご尽力は申すに及ばず、府当局・PTA・育友会・同窓会、そして地域の皆様方の暖かいご指導・ご支援のたまものと心より厚くお礼申し上げます。

20年という歳月を数えて、今、その歴史の重みをかみしめつつ「これまでの藤高」を単に振り返るだけではなく、栄光ある伝統をより確固たらしめる「これからの藤高」にも思いをいたさなければなりません。誠に意義深く大きな節目を迎えたというべきでありましょう。

さて、本校には『心の石庭』と名づけられた美しい中庭があります。初代森田校長先生の発案によって作られたもので、その願いは藤高生一人一人が「広い心」・「暖かい心」・「思いやりの心」を持ってほしいということにあります。いわば本校教育の根本をなすものといえましょう。生徒諸君にはこの精神を忘れずに、古い歴史と人情豊かな土地柄の中、人間性に富んだ人物に育ってほしいと願ってやみません。

その意味で、私は藤高生に、韓非子の言葉を贈ります。すなわち「自ら恃みて人を恃むことなかれ」と。元来本校には、生徒の自主性を重んずる校風があります。各人が持てる力を信じて、他人をあてにせず、自分の力で努力することが大切です。そのために一人一人が自分の持ち味・個性を生かし、自分の良さを伸ばしてほしいのです。併せて、自分がどんな時代に生まれ、どんな社会に生きているのか、しっかりと認識することも必要です。そうでなければ、自らの歩むべき道も見えず、果たすべき責任もわからないでしょう。どうか藤高生としての高い矜持を胸に秘め、来る21世紀——全人類の平和的共存・地球化時代を担えるようなたくましい若者になって下さい。

そして、この藤井寺高校そのものも、いわば今年成人式を迎えたばかりの若い学校です。20周年を契機に、教職員・生徒が決意も新たに大きな一步を力強く踏み出さなければなりません。来る21世紀初頭、30歳の誕生日を迎える頃には、文字どおり少壮有為の誉れを不動のものにいたしたい所存ですので、関係者の皆様方には何卒倍旧のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆にはなりましたが、記念事業に多大のご協力・ご尽力を賜りました皆様、並びに本誌の編集に携わって下さった方々に満腔の謝意を表します。



創立20周年を迎えて

PTA会長 松村正勝

大阪府立藤井寺高等学校、創立20周年を迎えられ心からお礼申し上げます。本校を開校以来、今日のように発展させてこられた歴代校長先生始め、諸先生方、PTA先輩諸氏、並びに卒業生の皆様方の並々ならぬ努力に対し深く敬意を表す次第です。開校以来20年、我が国の経済成長と共に成長の一途を辿って来られました。この原動力となったのは言うまでもなく、私生活をも顧みぬ教育熱心な教師陣と、それをとりまく素直な生徒達の密着な結びつきにあると思います。この師弟一体となった教育方針、又クラブ活動も熱心で常に校内に明るさを絶やさぬ校風が、現在の発展著しい藤井寺高校を築いて来たものと言えるでしょう。

しかし現代社会の急激な変化の中でバブル経済とその崩壊、一方高校教育では多様な生徒に対応するため量より質、個性に応じた教育が求められています。これからの教育は、これまでの反省と21世紀を展望して、生徒一人ひとりが、社会の変化に自ら対応出来る、心豊かな人間の育成を図ることが強く要求され、大きく変化していく時期に来ています。

そんな社会に対応していく上で、基本とも言えることで最近特に、若者を中心に話し言葉の乱れを強く感じる場合があります。今、若者と呼ばれる世代の中では、「ヤバイ」「マジ」「ウッソー」など意味不明の言葉が日常化しています。又そうかと思えば「グローバル」「コンセプト」「アメニティー」など逆の意味で理解に苦しむカタカナ言葉のはんらん等、現代社会の中で用いられる言葉は情報化、国際化の波を受けて激しく変わりつつあります。これらを「乱れとみるか揺れとみるか」生きている言葉づかいの難しさを痛感します。「わかりやすく、的確で、美しく、豊かな言葉」をめざし国語を愛護する精神を養うことを基本にこれからの日本語の在り方を考えるべきではないでしょうか。

この点を踏まえて言えば、日本語が社会の変化に伴って変わっていくのを認める一方で、日本文化の伝承という役割を軽視してはなりません。それが日本語をより豊かなものにしていくと思われま。社会の変化に対応して登場する外来語や和製英語のカタカナ言葉は、日本人の「新しもの好き」の表れで、実態は同じものでも新鮮なイメージを与えるがこうした言葉は「便利な言葉」として受け入れればよいのではないのでしょうか。これらの言葉は新しい日本語として定着し、美しい言葉として自浄作用するのか、あるいはすぐに消滅してしまうのか、それは使う側の、つまり私達日本人の美意識による問題であります。

又その一方で日本文化の伝承という役割を大切にすべき意味からも、古くから使用されている言葉は決して軽視し排除すべきではありません。今後日本社会がいかなる発展を遂げようとも丁寧語や敬語、そして方言も私達の大切な財産として学校教育、家庭、社会で根強く残していくべきであります。

「言葉は生きもの」で不易流行があり、時と共に変化します。それと同時にその土地の風土に根ざした言葉のニュアンスやリズムを持っています。言葉はこのめざましく変わる現代社会と同じくして時と共に変化していきます。

いかに取捨選択していくか、意味のわからない言葉にふり回されるのではなく私達が言葉を使いこなしていくことがこれからの日本語にとって最も大切なことではないのでしょうか。そしてこの日本語の在り方は21世紀の中心世代となる今の若者達だけに限らず国民一人ひとりが真剣に考えるべきだと思います。

末筆になりましたが藤井寺高校の今後益々の発展を祈念いたしますと共に20周年記念事業にご尽力、ご協力戴きました関係各位、学校当局、またPTA関係各位に心より感謝申し上げます。



創立二十周年を祝う

初代校長 森田 敏夫

初代校長として藤井寺高等学校へ着任いたしましたのは昭和四十九年一月一日の藤井寺高等学校開設と同時でした。

教員生活最後の三年三ヶ月でしたので学校発展の為に全力を尽くしました。

当時を思いおこしますと第一次オイルショックのさなかでもあり経費節減のため植樹をやめ特に中庭は芝生にして四ヶ所に小石を集めて心の字にしたのは私の自信作です。

二十年の間に遂げられた御発展をたのもしくまたうれしく思っています。

二十一世紀にむけてますますの御発展を祈ります。



藤高20年の飛躍を祝して

三代校長 山田 忠雄

創立20周年を心からお祝い申し上げます。

多くの人材を社会に送り出し大きな飛躍を遂げられていること誠に喜ばしいことと存じます。

私が藤井寺高校に赴任いたしましたのが、昭和55年3月初め高校入試の入学願書受付の最中でありました。二代校長土井先生の研修旅行付添での御不幸な出来事があったあとのことです。先生のご冥福を祈ります。

而しながら、日頃から藤井寺高校の教職員の皆様方には和をもった雰囲気の下に、一致団結して諸行事を行い、又学校教育を非常によい方向で進められたことが思いうかびます。

今日の学習指導に教育活動に進んでゆき目的達成につながり大きな飛躍と多くの優秀な卒業生を送り出したことであります。

又、藤井寺高校は城山古墳を始めとする多くの文化財とみどりの農地を眺める田園風景の中に建設された立派な学校であります。立地条件から自転車通学の諸君が多く駅前置場、校内置場などで全職員の皆様方大変御苦勞をおかけしたことも思いうかびます。

さて、学校の歴史も20年という歳月を経て、巣立たれた皆さんは、それぞれの地で活躍されていることを聞くにつけ思う事は、在校生の皆さんにはこの節目を大切に、藤井寺高校の教育方針「敬愛と協力の精神」でもって進み学習に意欲をもって学力、体力を身につけ進んでいかれることを願うものです。

お互いに切磋琢磨してきずかれた立派な校風を一層伸ばしていくことと、21世紀に向けて大きく飛躍前進すること、そして藤井寺高校の一層の充実と発展を祈念申し上げましてお祝と致します。



創立20周年を迎えて

同窓会長 若林 和博

藤高が創立されて20年という歳月の中で、数々の試行錯誤とたゆまぬ努力によって、現在のように成長し、また各方面よりの評価と評判を耳にしますと、卒業生の1人としてたいへん喜ばしく思いません。

藤高創立の当初には、雨が降れば沼ようになる運動場と騒音の中の教室、廊下での体育授業、ドロだけの中庭にポツンと立つ材木に取り付けられた暗夜灯、そして工事進行によって変更される通路、まさに工事現場の中の高校でした。しかし、月日を重ねるごとに体育館が建ち校舎も完成し、運動場も整備され、みごとな高校としての全貌が教職員の方々と共に当時生徒であった我々を大らかに包んでくれました。

学校生活においては、新設校とは思えないほどの数々の行事もあり、環境の不自由さを跳ねのけるほどの活気に溢れるものでした。これらの行事と気質が現在もなお受け継がれていることは嬉しく思えてなりません。

卒業生にとって母校は、かけがえのない時空を越えた交歓の場であり、永久の発展と活躍を共に歓び合える「心のふるさと」でもあります。藤高はそのような母校として我々卒業生に常に歓びを分かち与えてくれていると思います。

この20年間、藤高の発展のために教職員の方々、ならびにPTA役員の方々の多大なる努力と働きを尽されたことに深く感謝の意を表し、益々増える同窓生と共に藤高の伝統を守り育て、母校の発展に助力していきたいと思えます。

■ 記念式典に向けて

式典会場の使用契約も終って

事務長 福田 貴穂

平成5年5月18日、大阪厚生年金会館に向向き、式典会場使用契約の手続きを終えまして、本年11月6日(土)の式典会場が正式に決まりました。

こゝに至るまでには、今年4月に転勤された前教頭の中川幸雄先生を始め、教職員及び同窓会の有志の方々の大変なご苦勞がありました。会場選定の段階で知ったのですが、大阪の様な大都市でもこうした大規模な会館が意外に少ないのです。従って利用する側が希望する日を確保するためには、まず予約するための順番を確保しなければなりません。そこで有志の先生方で「申込み順番確保班」なるものを編成し、予約申込み受付日に備えました。

平成4年10月30日の早朝から3泊4日の日程で作戦開始です。(実は29日深夜から吉田正博先生がすでに現場へ行っておられたのです) 2、3人1組で同会館裏の通路へ座り込んだのです。10月下旬にしては暖かい日が続いていたのですが、どうしたことか、30日頃からその年最初の寒波が押し寄せてきて、大変厳しい野営となりました。それでも校長先生や米田先生ご夫妻から、連日暖かいコーヒーや夜食等の差し入れをして頂きほんとうに有難く元気づけられました。こうして延20名の先生方による4泊5日の泊り込み作戦が功を奏し、受け付けの当日には約40組中2番目の順位で希望どおりの日を予約することが出来ました。

振り返ってみますと、2年前の平成3年7月1日、記念事業に関する情報収集のため、油上校長先生に同行し先生の前任校である泉北高校へお邪魔をしたのが始まりで、その年の11月には「20周年記念事業実行委員会」が発足し、翌年3月には実際に計画を実行する「総務委員会」なる校内体制がととのい、記念事業に向けて本格的にスタートしました。

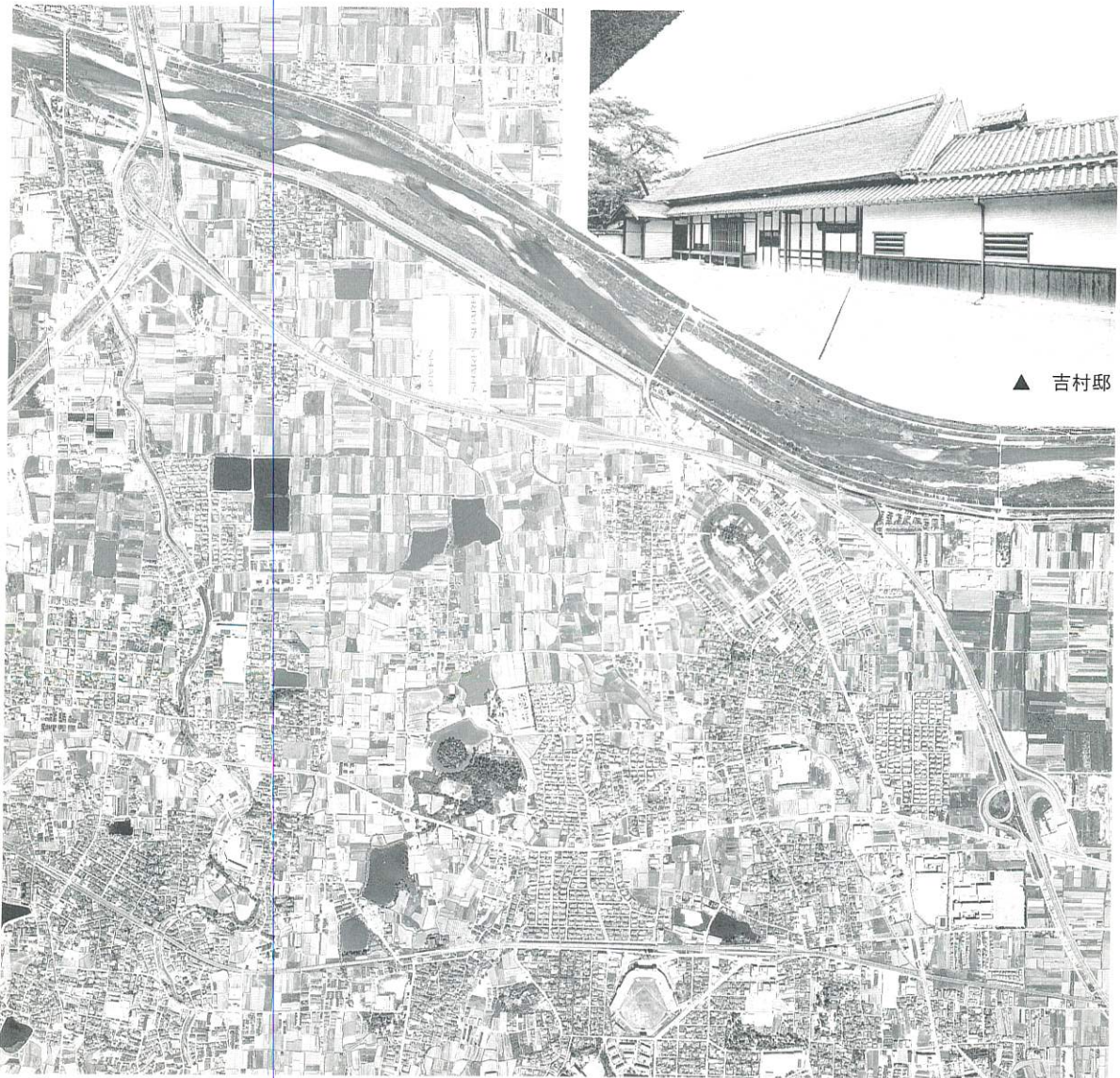
すでに生徒手作りの素晴らしい記念歌も出来上り、また記念誌掲載の座談会も無事終了、「記念事業」の輪郭もだんだんと浮彫りになってまいりました。先生方のご大変なご努力のうちに「11月6日」に向け準備は着々と進められています。

本番まであと4ヵ月余り、私も先生方の熱意に負けないよう微力ながら頑張っていきたいと思っています。

器時代以来の複合遺跡で、日本史の教科書に取り上げられる重要な遺跡である。本市の東部から羽曳野市にかけては、古市古墳群とも呼ばれ、応神天皇陵をはじめ、我が国でも有数の巨大前方後円墳の集中する地域であり、本校からも城山古墳、雄略天皇陵などを真近に望むことができる。市域の北部には条理遺構が今も鮮やかに残っており、本校の校地もその一角を占めている。

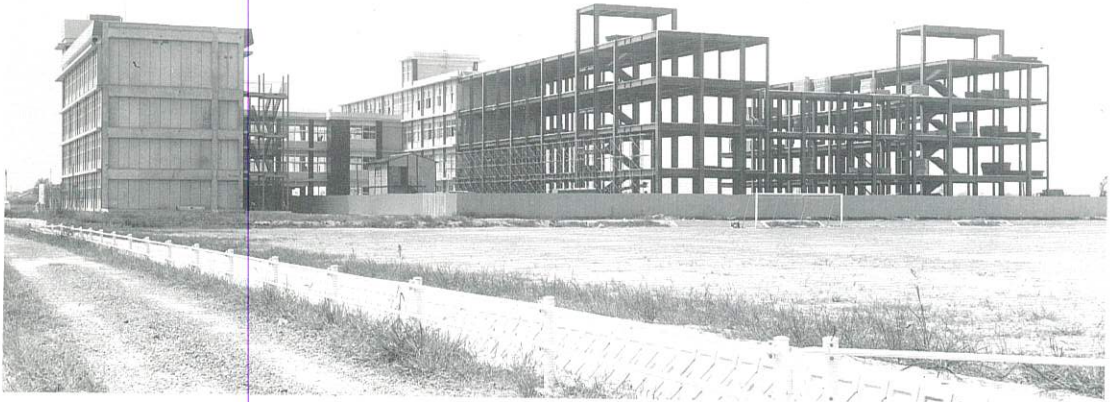
本市の名のもとである藤（葛）井寺は、古代の藤井氏の氏寺であり、国宝千手観音で知られ、西国五番の霊場としても多くの参拝者を集めている。また、道明寺天満宮は、菅原道真と縁の深い古社である。

本校の南西徒歩10分ばかりの羽曳野市島泉には、代表的な近世民家として知られる吉村邸がある。本校の北を流れる大和川は、江戸時代の宝永元年（1704）、中河内地方を洪水から守るため、柏原から堺にかけ、新たに築かれたものである。

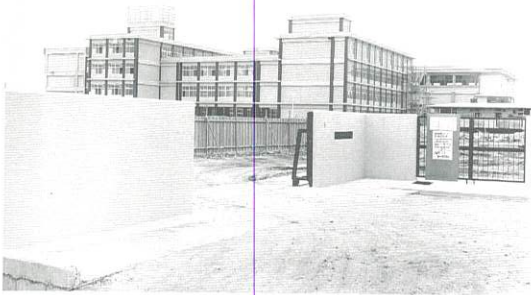


▲ 吉村邸

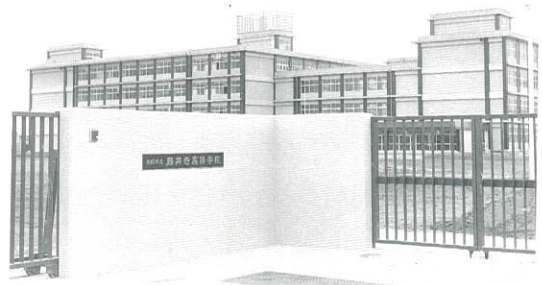
71年 航空写真



2 期工事鉄骨



2 期工事終了



3 期工事終了



3 期工事完了

本校では当初制服は未制定で、生徒は暫定的に中学校の制服のまま通学することになった。生徒、保護者の早く制服制定をとの強い要望により、生徒、PTA、教員の代表からなる制服制定委員会により検討がすすめられた。問題となったのは女子の制服である。当時の家庭科の清先生によるデザインをもとに広く意見を取り入れ、ようやく制服が決定された。ネクタイは夏・冬とも学園の平和と発展を表わすカラーであるグリーンに統一した。

6月1日の夏服より、真新しい制服で全員が晴々と登校できるようになった。さいわい本校の制服は、生徒、父母、それに一般市民にも好評を博している。

男子は、15期生から夏服のカッターを指定し緑のFの字の刺繍を入れた。16期生から、紺色・ラウンドカラー学生服・スポンに校章入りのものを設定。また、従来の学年別に校章の色を分けて、制服購入後に装着していた方式を、一色に統一し制服業者が納入前に着けておく方式に変更した。

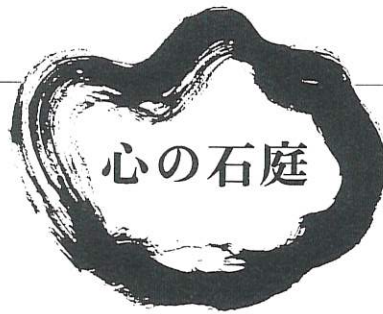


男子 (冬) 詰め衿学生服 (紺)
(ラウンドカラー)

(夏) { カッターシャツ (白)
ズボン (紺)

女子 (冬) { ブレザー (紺)
ベスト (紺)
プリーツスカート (紺)
シャツブラウス (白)
ネクタイ (深緑)

(夏) { シャツブラウス (白)
プリーツスカート (紺)
ネクタイ (深緑)



第三期工事の一環として昭和51年に完成した。初代森田校長の発案によるもので、様式は、八方面の俯瞰庭園である。

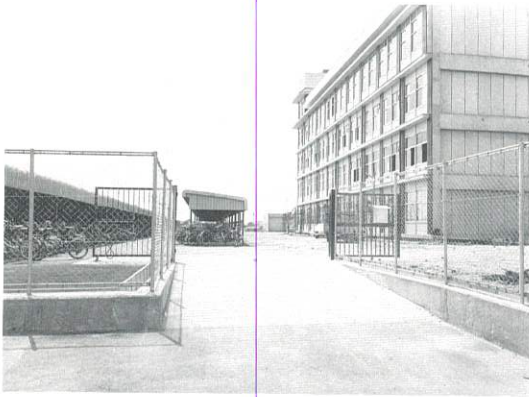
中央部分は、16個の丹波石と白川砂敷の石庭となっており、上方より見ると「心」の字となるように配置されている。石庭部の周囲には高麗芝の部分、校舎との境界部に灌木帯を配している。

灌木帯の樹種は、ヒラドツツジ、サツキ、ドウダンツツジ、シンガシラ、ジンチョウゲなどである。技師の方々の除草、剪定、消毒といった維持管理の努力のおかげで、季節に応じて、芝生の緑、美しい花々が目を楽しませ、やすらぎをもたらし、また夏のきびしい日差しを大いにやわらげ、学習環境を高める効果は、極めて大きいものがある。

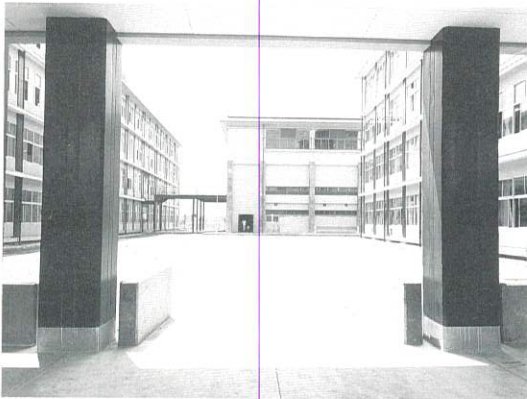
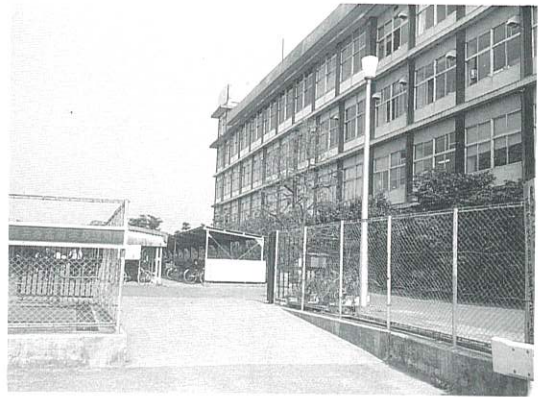




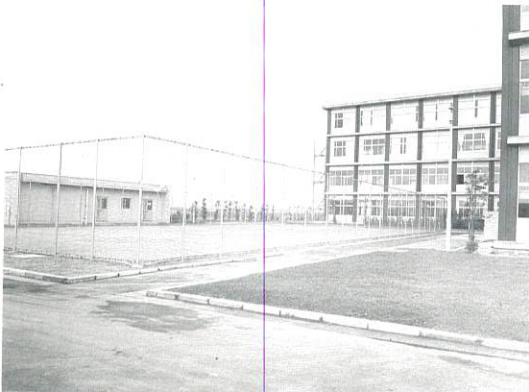
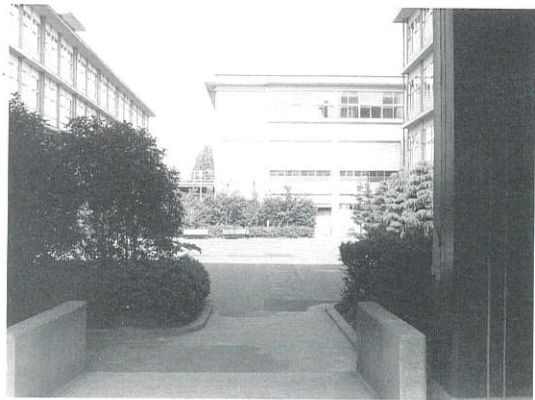
食堂の方々



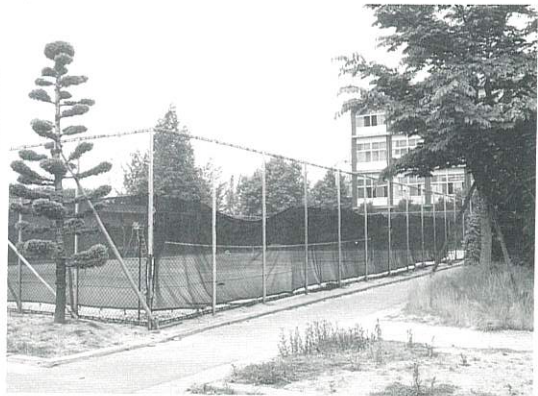
通用門



中庭



焼却場横テニスコート付近





上空より南東方向を望む (93年撮影)



生駒山

高安山

信貴山

城山古墳

二上山

応神陵

葛城山

仲哀陵

金剛山

雄略陵

和泉山脈

吉村邸

本校屋上よりの遠望図 (製作 美術科 寺本教諭)

遠足

新学期を迎え、クラスでの教師と生徒、生徒同志の相互理解と親睦を深める為に、春の行事として遠足を行っており、年度によって、学年ごとクラスごとの計画で実施している。76年度から82年度までは、1年生は、宿泊研修を行った。10年目あたりまでは、身体の鍛錬ということもあって、3年間のうち必ず登山が計画されていた。11期生からは、1年生は、クラス作りを主目的に、野外活動（飯盒炊き）を実施している。11期生の3年の頃から、3年生は各クラスで独自に行き先を決定するようになっている。

遠足一覧表

93 (5)	92 (4)	91 (3)	90 (2)	89 (元)	88 (63)	87 (62)	86 (61)	85 (60)	84 (59)	83 (58)	82 (57)	81 (56)	80 (55)	79 (54)	78 (53)	77 (52)	76 (51)	75 (50)	1974 (49)
"	"	奈良県立野外活動センター	花の万博	"	"	"	"	"	奈良県立野外活動センター	琵琶湖文化センター	(宿泊研修：鈴鹿)	(宿泊研修：鈴鹿)	(宿泊研修：鈴鹿)	(宿泊研修：串本)	(宿泊研修：串本)	(宿泊研修：串本)	秋：嵐山等 春：(宿泊研修：串本)	吉野・私市くろんど池	秋：奈良公園 観心寺等
飛鳥敷策	飛鳥地域グループ別敷策	金剛山 赤目	曾爾高原・青山四季の里・ 赤目	私市くろんど池・曾爾高原 青山高原四季の里	奈良公園とシルクロード博	金剛山	洞川・信楽・鈴鹿・大妻・ 神戸・大和高原 奈良公園	曾爾高原・奈良公園	葛城山	六甲・私市くろんど池 柳生街道等	飛鳥 柳生街道 山の辺の道	金剛山	金剛山	金剛山	金剛山	吉野	汐ノ宮	(雨天中止)	
紀ノ川・ワールド牧場・摂津峡等	神戸方面・スポーツバレー京都 スポーツバレー京都等	神戸方面・エキスポランド・ 須磨・雪公園山・いじのエキスポ 等	神戸異人館・ポルトピアランド 洞川等	ダッハ・ランド・六甲山・神戸港山・ 万博公園・須磨・大鳴山から牛滝山・ 異人館	神戸等各クラス企画	赤目・伊留驛・青山高原	六甲・飛鳥・神戸異人館 大妻・ 二色浜・ポルトピア等	吉野・山のべの道	奈良公園	万博民族学博物館	葛城山	ポルトピア	葛城山	葛城山	葛城山	京都など	汐ノ宮		



1期生 1-12 秋の遠足 天野山



11期生1年 奈良県立野外活動センター



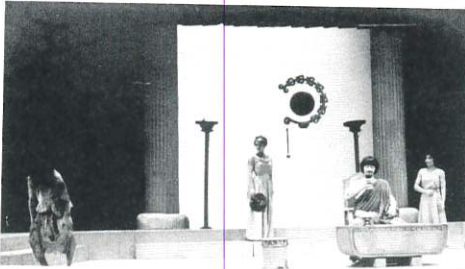
14期生 2年 シルクロード博



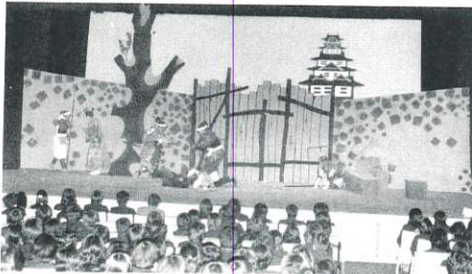
17期生 1年 花の万博

芸能鑑賞

当初より、他の学校が実施している行事は、全部揃えようという、意欲的方針のもとで、初年度には映画鑑賞会が実施され、75年度からは芸能鑑賞として、音楽や古典や演劇や映画などの鑑賞を通じて生徒の文化的資質を高めようと、実施されて来た。83年度からは、古典芸能→演劇→映画を一つのサイクルとして、それぞれの分野から題材や出し物を選び、順番に実施している。



77. 「狐とぶどう」



79. 「大阪城の虎」



86. 歌舞伎教室



92
わらび座

芸能鑑賞一覧表

75(50)	映画鑑賞『チャプリンのキッド』『故郷』 藤井寺市民会館大ホール
76(51)	映画鑑賞『太陽にける橋』 梅田OS劇場
77(52)	演劇鑑賞『狐とぶどう』 京芸 藤井寺市民会館大ホール
78(53)	音楽鑑賞『大阪市音楽団吹奏楽』 藤井寺市民会館大ホール
79(54)	演劇鑑賞『大阪城の虎』 関西芸術座 藤井寺市民会館大ホール
80(55)	演劇鑑賞『熱海殺人事件』 卒塔婆小町 藤井寺市民会館大ホール
	狂言鑑賞『萩大名』『千鳥』 本校体育館
81(56)	歌舞伎教室『悪太郎』 片岡秀太郎他 厚生年金会館大ホール
82(57)	演劇鑑賞『11びきのねこ』 京芸 藤井寺市民会館大ホール
83(58)	文楽教室『壺坂観音霊験記』 朝日座
84(59)	演劇鑑賞『赤ひげ』 藤井寺市民会館大ホール
85(60)	映画鑑賞『ビルマの豎琴』 南街劇場
86(61)	歌舞伎鑑賞教室 新版歌祭文『野崎村』一幕 厚生年金会館大ホール
87(62)	演劇鑑賞『坂本龍馬についての一夜』二幕 劇団青い森 藤井寺市民会館大ホール
88(63)	映画鑑賞『敦煌』 東宝敷島等
89(元)	『上方古典落語』鑑賞 桂春団治等 藤井寺市民会館大ホール
90(2)	ミュージカル鑑賞『星の王子様』 東京演劇集団「風」 藤井寺市民会館大ホール
91(3)	映画鑑賞『愛と哀しみの旅路』 東宝敷島等
92(4)	わらび座公演『いのちのうた』 藤井寺市民会館大ホール

85
「ビルマの豎琴」



スキー教室

冬季行事の主役「スキー教室」は、74年度第1回実施以来、各種の生徒参加行事の中でも大変人気の高い行事として、今日に至るまで続けられている。この背景には、創立当初の頃からのスキーブーム、高速自動車道の発達（現在は松本まで高速で行ける）の他、78年度（4期生）より、修学旅行として「スキー研修旅行」が実施されていること等が挙げられる。また、大阪では接し得ない白銀の世界の素晴らしさ、スキーの楽しさが実感として参加者の心をとらえ、それらが1年生にも行事紹介等の中でロコミとして伝えられて来たことも、大きな理由に挙げられるであろう。初期に実施された各スキー場には、それぞれ特色があり、施設面ではよい成果はあった。しかし、ゲレンデの積雪の不安定、実施時期、授業日数等の問題が実施に当たっての課題になっていた。そこで、85年からは、確実に積雪が望め、研修旅行実施地でもある、志賀高原横手山に場所を固定し、冬休みの前半に実施されている。



90. 2. 6

長距離走大会

金剛山雪中登山・夜行軍等様々な方法が検討された耐寒訓練として、75年度に学校の運動場を発着とする「校内長距離走大会」が計画・実施された。そして運営上の諸問題（交通等）を解消するため78年度より長居競技場に舞台を移し、現在では男子約10km、女子約6.5kmの距離で実施されている。毎年2月の恒例行事となったこの大会のため、体育の授業での長距離走や、健康チェック等が綿密になされ、記録も徐々に向上している。例年先生方の参加も活発であり、近年のジョギングブームに加えて、83年1月末の大阪女子マラソンに6期生の加藤ゆかりさんが完走したこと等もあり、生徒諸君の関心も高い。



校内球技大会

校内球技大会は、1974年12月生徒体育委員会を中心に、第1回としてサッカー・バレーボールが実施されて以来、生徒諸君の楽しみな行事の1つである。年々盛りあがりを見せ、最近ではバレーボール・バスケットボール・ソフトボールを中心に実施されている。



86. 11. 13



84. 11. 27

第8回3年男子による「エッサッサ」



第9回



第9回藤養との交流



第11回



第11回



第10回応援風景



第17回宣誓



第11回



第15回アップレード藤高パフォーマンス



第17回聖火

フォークダンス
盆おどり



第5回



第5回



第5回



第5回



第12回



第10回



第17回



第18回



第18回



第18回



第19回



第19回

2 期 生

(76. 10. 30~11. 2)
北陸・山陰・北九州 3 コースの旅

A班 北陸・能登コース

- 10/30 大阪駅-金沢-兼六公園-千里浜(泊)
- 10/31 千里浜-能登金剛-総持山-輪島-
-狼煙-曾々木(泊)
- 11/1 曾々木-珠州-小水-穴水-富山-
-立山(泊)
- 11/2 立山-室堂-美女平-富山-大阪駅

B班 山陰コース

- 10/30 新大阪駅-小郡-秋芳洞・秋吉台-
-萩(泊)
- 10/31 萩-津和野-浜田-出雲大社(泊)
- 11/1 出雲大社-日御崎-松江城・
小泉八雲旧邸-大山寺-榊水高原(泊)
- 11/2 榊水高原-蒜山高原-久世-岡山-
-新大阪駅

C班 北九州コース

- 10/30 新大阪駅-小倉-青の洞門-
-九重高原(泊)
- 10/31 九重高原-別府(地獄巡り)-高崎山-
-九重高原(泊)
- 11/1 九重高原-豊後竹田城跡-阿蘇山-
-草千里-阿蘇地区(泊)
- 11/2 阿蘇地区-水前寺公園-熊本-太宰府-
-博多-新大阪駅



立 山



松 江

3 期 生

(78. 3. 20~3. 23)
九州 3 コースの旅

A班 平戸コース

- 3/20 新大阪駅-博多-平戸(泊)
- 3/21 平戸をベースに各クラス毎に学習活動-
-平戸(泊)
- 3/22 平戸-西海橋-グラバー園-長崎(泊)
- 3/23 長崎-平和公園-博多-新大阪駅

B班 長崎コース

- 3/20 新大阪駅-博多-西海橋-長崎(泊)
- 3/21 長崎市内学習活動-長崎(泊)
- 3/22 長崎-平和公園-雲仙-島原(泊)
- 3/23 島原〜三角-水前寺公園-博多-
-新大阪駅

C班 熊本コース

- 3/20 新大阪駅-博多-太宰府-熊本(泊)
- 3/21 熊本市内学習活動-熊本(泊)
- 3/22 熊本-阿蘇-草千里-黒川温泉(泊)
- 3/23 黒川温泉-青の洞門-小倉-新大阪駅



熊 本



グラバー園

10周年記念式典

本校創立10周年を祝い、記念式典が11月12日（土）に、本校体育館において挙行された。当日は大阪府教育委員会浅野素雄教育監、堀端宏藤井寺市長、芝池府会議員、森田敏夫初代校長、山本義一初代PTA会長、管内高校中学学校長、本校歴代校長等120名に及ぶ来賓の臨席を仰ぎ、最初に生徒による吹奏楽から始まり、心温まる祝辞や、記念の花束の贈呈等があり、最後に好評を博した『本校10年の歩み』の映画が上映され、式は盛会裏に終了した。

10周年記念としては、この式典のほか、10周年記念誌2500部が作成され、同窓会から食堂横に藤棚一式、育友会（PTA実行委員会のOB会）から玄関正面（事務室前）に置時計が贈られ、永く藤井寺高校の歴史に馥郁とした香りとゆかしい音色を残すこととなった。また、同窓会からは、教職員にコーヒークップが贈られた。



創立10周年記念式典

式次代

1. 吹奏楽演奏
1. 開式の辞
1. 校歌斉唱
1. 学校長式辞
1. 祝辞
大阪府教育委員会
初代校長
初代PTA会長
1. 花束贈呈
地元府会議員、藤井寺市長、中学校長会代表、
七学区高校長代表、前校長、PTA前会長、同
窓会代表、育友会代表、初代教頭、初代事務長
1. 祝電披露
1. 生徒よろこびの言葉（PTA会長・生徒代表）
1. 記念品贈呈、謝辞
1. 閉式の辞
1. 映画「本校10年の歩み」



卒業式・答辞



卒業式

答辞

在校生の皆さん、ただ今は私達卒業生のためにあたたかい励まし言葉を送ってくださる方が多いと思います。三年前の四月八日、雨の日、藤井寺市民総合会館での入学式で私達は藤井寺高校第一期生として、新しい歴史のスタートを切りました。校長先生から地域社会が藤井寺高校の将来に深い関心をよせているというお話をうかがい、そのあと新しく校章を紹介され、担任の先生方を紹介され、生徒代表の宣誓の言葉を聞いていたうちに、ひしひしと胸に強く感じたことがありました。それは入学の喜びや今後の生活への期待というよりも、自分達が新しい伝統を作っていくかねばならないという責任感、この学校を良くするのにも悪くするのにもまさに自分達の生き方にかかっているのだという身が引きしまるような大きな責任感でした。そしてその日から一期生ならではの苦しくあわただしい生活がはじまりました。田園の中にポツと二棟小さく立っていた校舎。体育館もプールも食堂も図書館もなく殺風景な校舎で歩き、雨の日は泥の中をかき分けて煙に悩まされ、石ころと雑草だらけのグラウンドでは、よく足を痛めました。それからあの耳をつん裂くような工事の音、先生方の授業の声も、あまりにひどい騒音のために、何回となく途切れました。二工事が終わってから開校してはしなかった。と私達は何度思ったことでしょうか。ほとんど校舎が建っていき喜ばしかったものの、やはり私達の三年間は、ある意味では騒音公害と闘いながらの三年間でした。しかし私達はプツプツ言いながらも私達なりに多くのことをやりとげました。まずクラブを可能な限り作ることを。私達は作りたいクラブの仲間達を集め、当時二十五・六名だった先生方を次々に

わり、顧問になっていただくための交渉を続けました。その間には、評判の高い制服も制定され、体育大会や文化発表会も皆の協力によって曲がりなりにでも開催できたことは大きな喜びでした。そしてそれらを通して私達は多くの友人達を得、先生方との交流もはかれたことは何よりの収穫だったと思います。結果として私達は幸いにも他校に負けなだけの多くのクラブ活動を誕生させました。月日は矢のように早く流れ去り、私達は今、堂々と完成した立派な校舎、充実した施設設備、八十名の先生方、千余名の後輩達を持つに至っています。クラブ活動も後輩達と共に対外試合に出場し、中には大阪の代表になるほど、活躍した仲間達もできました。生徒会も新しく生まれ変わりました。二年生の時には、高校生活での最大の思い出となった修学旅行が行われました。太陽と海そして異国情緒たっぷりだった長崎、日本のムードにあふれていた雨の永平寺公園とにもなく大きなスケールで私達を迎えてくれた頼の本高原、紅葉が目もさめるほどに美しかった那馬溪や青の洞門、その他選択コースに分かれて、別府の地獄めぐり、マリンパレス、猿の高崎山、九州一の高山、九重登山、白牡丹の石仏など、私達は秋の九州のすばらしさを満喫しました。友人達との楽しい交遊舎のことも、つい昨日のことのように思い出されます。修学旅行の他夏は水の出きれいな日本海での水泳教室、高山植物が乱れ咲いていた八方尾根、雪と氷の山白馬大雪渓など北アルプス方面への野外活動、冬は樹氷と白銀の大世界、野沢温泉でのスキー教室その他、各種の校内競技大会の開催など、学校行事もすっかり充実し、わが藤井寺高校も名実ともに学校らしく形を整えてきました。しかしその一方で、多くの暗い事も起こりました。校舎の建設とともに、一部の心ない者たちによる校舎の破壊、公共物の破壊、自転車盗難、あいにく喫煙、授業妨害などな

ど、眉をひそめることが次々に起こりました。また、オートバイ事故のために若い命を落とした大西君のことも忘れられません。不運な青春でした。これらを通して入学時五四〇名もいた一期生は、転入生も含め現在では五〇六名になってしまいました。これは私達第一期生にとっては、一番つらく残念なことでした。今、私達は卒業するにあたって、三年前に比べ、見違えるように立派になった学校の充実ぶりを喜ぶとともに、何か言いようのない寂しさを感じています。これは一期生の宿命だったのかも知れませんが、あまりにこの三年間が目まぐるしく、じっくり腰をすえて学校生活を楽しんだり、勉強したり、自由奔放に青春のエネルギーを爆発させたりする余裕がないままに去って行かねばならないような気がします。そしてなによりも、入学の時に私達が考えたように、私達は一期生として、はたして藤井寺高校の伝統となるなにかを形成することができたか、後輩達になにか良い校風を伝えることができたかと思ひ返してみると、どうも自信はありません。しかし私達は無力ながらも何かを学校のために生み出したことも確かだと信じます。

在校生の皆さん。どうか私達が卒業した後も、この藤井寺高校を誇高い学校に、地域社会から愛される学校に、健全で明るく自由な校風をもった学校に皆さんで力を合わせて上げて下さい。

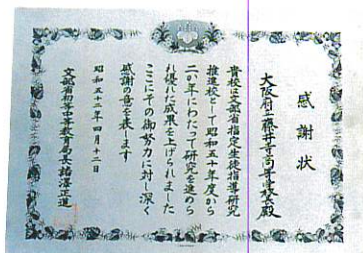
最後に、校長先生はじめ諸先生方、全職員の方、長い間、多方向にわたるご指導をいただきありがとうございます。ございました。私達は就職、進学、その他それぞれ進道は違いますが、この三年間先生方から受けました教えを糧に、新しい生活に入り、たかぐんばなっけい生きていきます。先生方もお元気で後輩達をよろしくご指導下さいませようお願いします。

それでは皆さん、さようなら。

昭和五十二年二月二十五日
卒業生代表 森博史

文部省指定生徒指導研究推進校となる
(1975・76年度)

文部省の生徒指導研究の指定校となり、「無気力、無関心な生徒や問題行動に走りやすい生徒に対し、学校生活に親しみを持たせ、学習意欲を高める指導はどのようにしたらよいか」の研究主題のもとに取り組んだ。



どのようにしたらよいか」の研究主題のもとに取り組んだ。

生徒指導部を中心として、教務部、進路指導部を加えたプロジェクトチームを結成し、各種の調査・検査や各教科指導・教科外教育活動・カウンセリング・進路指導等を通して実践研究を進めていくことによって、本校教育の基本路線ができ、方向づけが確立した。

大阪府教育委員会L1英語教育の指定校となる
(1979・80年度)

音声面指導充実の一環としてL1教室を位置づけ、普通教室での機器利用と共に、総合的に活用。教員の研修体制を充実し、教材作成等で活発な共同研究を行い、生徒に対し、新しい角度からの動機づけが出来て、学習意欲に好影響を与えた。



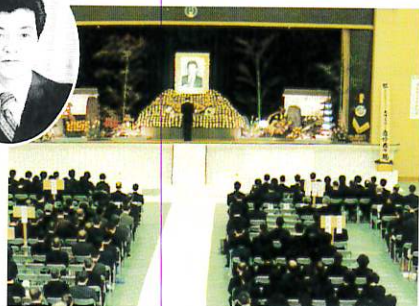
旧L1教室での授業

20年あれこれ

悲報！土井校長の死（1980年2月28日）



▲故土井善博校長
▶追悼式(80・3・26)



1980年2月28日、土井善博校長が5期生スキー研修旅行に付添われ、長野県の志賀高原横手山スキー場において実習見回りに、心筋こうそくで倒れられ帰らぬ人となりました。3月26日、追悼式が本校体育館で、遺族をはじめ教職員、1・2年生代表、卒業生有志、PTA、教育関係者等800人が参列して、しめやかに営まれました。77年4月府立長野高校教頭から、本校2代目校長となられた故土井校長は、スポーツマンらしい明るさと、温厚な人柄で多くの方々から親しまれました。記録用の8mmフィルムの中から、ありし日の故土井校長の姿を集めた映画が上映され、参列者の涙をさそいました。

故土井善博校長を偲ぶ
井上悦男(事務長)

今はただ かたみとなりし蘇鉄株
おもいでつきず よたびめの秋

昭和55年2月27日早朝、お元気でバスの窓より手を振りつつにっこりされたお顔は今もなお鮮明にまぶたに残って居ります。お口数はすくなくて、常にあなたかくゆったりとした学校経営を心がけておられましたので、職責の重きをこぼした時にも、「楽な気持ちで」と種々お心添いただき「誰もが一度は通る道だよ、あわてずに行きなさい」と諭されたことは、とともまねごとすら出来かねることでありますが困難に際して励みとして、今日まですごしてまいりました。藤井寺高校隆盛の内で迎えます10周年式典、御在世ならばいかに喜びなられたことでしょうか。僅かの歳月でしたが、お教えいただいたことは数多く、あまりにも急なことでしたのでいまだに信じたくない思いもいたします。

夢なかで み声おすがた 今もなお
道さとされぬ
ありがたきこととおもう

(10周年記念誌への追悼文を転載)

大阪府立高校英国人英語指導教員配置校
となる (82、90~93)

英語指導教員来る

81年度、英語指導教員として採用され、生野高校に常駐されたヴィスニスカ先生に、月1回授業していただいた。そして、82年度には、本校が配置校となり、アンソニー・J・クルックス先生を迎えた。彼は、イギリスのアイリッシュ海のマン島出身で、リーズ大学仏語科を卒業後赴任された。当時大いに話題となり、多くの新聞にも取り上げられた。その後は配置校にならず、85年にライアン先生、87年にマッカートニー先生、89年にストローン先生、90年にギャリティー先生に来ていただいた。そして90年9月から配置校となりアリソン・M・スエット先生を迎えた。彼女はロンドン西方のウォーリック出身で、バーミンガムのアストン大学で仏語と経済学を学び、卒業後赴任された。1年後の91年9月から現在までシェリー・M・キーチ先生に来ていただいている。彼女はニュージーランド南島のウィントン出身で、クライストチャーチのカンタベリー大学で、英文学とジャーナリズムを専攻され、来日された。来日後、そろばんを習ったり日本語教室に通ったり、なかなかの日本通になっておられる。

藤高での一年間を振り返って

Alison Suett

イギリスには「楽しい時は時間が飛ぶように過ぎる」という言葉がありますが、日本での私の一年間にぴったり当てはまる言葉です。今、帰国の準備をしながら、私が初めて藤井寺に来た日からもうすぐ一年になるうとしているとは信じられない気持ちです。帰国の日が近づいていますが、日本を離れるのは、そして、とりわけこの学校を離れるのは、どんなに悲しいことだろうと思います。

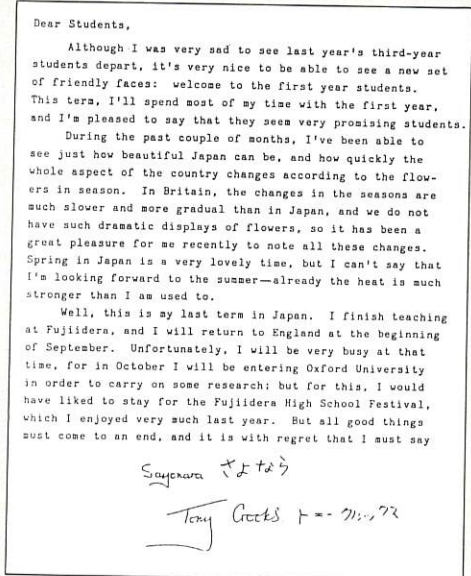
藤高での一年間を振り返ると様々な事が浮かんできます。まず、昨年9月の始業式で、生徒全員の前に立って話をしたこと。あんなに大勢の生徒を目にし、私は非常に緊張しました。誰か一人でも知っている顔があればあと、どんなに思ったことでしょうか。もちろん、そのうちに一人ひとりの顔がはっきり見えてきました。

昨年9月の文化祭、数週間前に行われた体育祭もいい思い出です。両方とも藤高生の行事に対する熱意と、本校の学校生活を楽しいものにしようと生徒と先生が協力して取り組む姿勢がよくわかりました。2月には、2年生(現3年生)とスキー研修旅行に行きました。その間大勢の生徒達と英語で話せて楽しい思いをし、又、生徒達が本当に一生懸命何事にも取り組んでいるのを見て感銘を受けました。

私にとって日本の高校で働けたということは本当に

面白くさらに藤高で働けて本当にラッキーだったと思います。一年を通じて、本校の先生方と生徒達に親しくしていただき、いつも暖かく迎えて下さっていると感じていました。こんなすばらしい雰囲気のある学校には絶対ないでしょう！一年間で現2年生と3年生を教えました。残念ながら1年生の人達には、ほとんど会う機会がありませんでした。日本でのこの一年は本当に私のためになりました。そして期待していたよりもはるかに多くのことを学ぶことができました。生徒の皆さんも、何か私から学んでくれていたらと思います。

貴校で一年間私を暖かく迎えて下さり、ありがとうございました。
(訳 英語科 中須賀教諭)



アリソン先生



シェリー先生



緒方教頭女性初の校長



84年に府下で初の女性教頭として北野高校から転任して来られた緒方淳子教頭先生が、87年4月より、これまた府下初の女性校長として府立大手前高校へ転出されました。新聞社の取材に対し「初

の女性校長として責任の重さを感じていますが、体当たりで頑張り、後に続く女の先生方への先鞭をつけたい」とおっしゃっていました。

LL教室改装

91年秋、従来の簡易型セミラボと呼ばれる形式から「フルラボ」と呼ばれる形式にグレードアップされた。従来の機能に加え、各ブースでの録音機能も加わり、個別練習可能な形式になったし、「ビジュアルトランザ」^{er}と名付けられた映像送出機能、つまり、VHS型VTR 2系統・レーザーディスクコンパチブルプレイヤー・ビデオキャプションアダプター・固定カメラによるプリント等の映像等を生徒の机上のテレビ画面に送り出す装置等も加わり、より一層充実したLL授業が展開できるようになった。



冷房化始まる

大阪府は、学校施設にも時代の趨勢として冷房の必要があるとして、まず88年に図書室を、次いで90年に保健室、91年に校長室・事務室を冷房化した。



外装・ひさし改修工事

本校も、あちこちに傷みが目立ち始め、屋根の部分のひさしからコンクリートの破片が落下するに至って、92年大々的な補修工事を実施した。



奉仕等体験学習研究推進校となる

1991・92年度文部省より上記指定校に指定されたが、本校には生徒会やボランティア部、また教員の交流委員会による長年の実績があり、それを検討・発展させる形で取り組んだ。

ね。すると生徒が願書もって来るときに、受付の締め切りギリギリでタクシーに乗って「フジコウへお願いします」と言ったら、藤井寺工業へ行ってしまった。そこで呼び名を「フジタカ」にしてまぎらわしくないようにしたと思いますね。

谷口 生徒を4期生から知ってるんですけど、今は殆どが自転車通学という形ですけど、初期の頃は2 km以上離れている生徒に限って許してたんです。その代わり山ほど二人乗りがありました。見付けて来ては、正座させたりやってたんですけども、多過ぎるし、苦情もたくさん来ますし、8期ぐらいに一応全員認める事にしたんです。それから駅前の駐輪場は、最初は市から学校の駐輪場というのを無料でジャスコの所に作ってもらってたんですけど、それが駄目になって、結局市橋校長先生の口添えで、駅前の日本レンタカーの所に有料ですが割安に取ってもらいました。それから、単車でも色々あったんですね。今は3無運動というのがありますが、昔はそんな事を言われてない頃でして、例えば文化祭で8ミリ映画をやった時、「先生の家で撮りたい」と言って、みんな単車で来たことがあったんです（笑い）。まあ最近では、そんなことは全然ありません。



林 僕はちょうど10期生が1年の時にこちらにお世話になったんです。困難校にいましたが、藤高の生徒が天使のように見えましてね（笑い）。それで自分の基準を変えて、もっと上の事を要求していかなと自分自身に言いかけたんです。最初は生指部でしたが、感じたのは、二人乗りに対する指導の厳しさですね。前任校ではバイクに乗って来てる者がおりまして、「許可なしで何で乗ってるんや」と怒ってるレベルでしたから。それが二人乗りしたら必ず次の日に呼び出して、正座させて、凄い指導しておられるので、成る程なあと思いました。



杉岡 玄関に入ったら賞状やカップが一杯並んでいるんで、部活動の方もかなり活発にやってるんだなという気がするんですけど。非常に強い時期もあったというふうに聞いておりますが、いかがですか。

林 初期の頃は水泳や柔道や陸上、体操、バドミントンなどはインターハイレベルで、野球・サッカーも、府下でベスト8になった事があります。女子バスケも近畿大会へ行ってます。こういう活躍をしてくれたんですけども、最近では女子のバレー、卓球、水泳が近畿大会に出場しました。卒業生の中で有名な国公立に進んだ者の多くが、運動部を経験して集中力や気力や忍耐力とかを養ってくれたんだと思うんです。だから本来の部活動の目的というものは、十分果たしてくれていると思うんです。

杉岡 初期のPTAのバックアップ等もかなり良かったんじゃないでしょうか。

寺本 PTAは熱心でね。特に既設校に追い付け追い越せということで、環境整備に力を入れられ、開校時点ですぐ、「通学路の舗装を早くしてくれ」と、藤井寺市側に働き掛け、すぐしてもらいましたね。農道の地主さんとの交渉もやられました。それから高鷲駅からの利用がかなり多かったんですけど、大量の生徒が降り、踏切を渡って一度に全部がこちらに来ると、道幅いっぱいになり車が通れなくなる。すると「この学校の指導は何や」と苦情がでる。そこで、改札を北側に変えるようにという運動を、近鉄本社まで行って交渉されました。それからカーブミラー、街灯等の設置についても交渉

林 食堂の話してもいいですか。ご存じない方が多いと思うんですけど、例えば生徒が津堂会館を借りて学校の設備で合宿をしましょう、その時にお願いすると、朝昼晩と用意していただけます。勿論営業日と関係なしにです。よその学校ならまず難しいでしょう。ですから、藤高の発展は食堂のお陰もあるといえます。

中須賀 去年リーダー合宿をやった時に、日曜のお昼に食堂を使わせてもらって、お好み焼きを作らせてもらったんです。その時に江川さんわざわざ来てくれはって、職人のほんまもの包丁とか全部、生徒に使わせてくれはるんです。ほんとうにびっくりしました。「切ったろか」とかおっしゃって色々手伝ってくれはるんです。何て親切なんやろうと思いました。

杉岡 素晴らしい人が多いですね。私は今年赴任してきたわけですが、今年でおやめになった技師の大中さんのことを西岡さんから聞きましたが「あんな素晴らしくよくできた人はちょっとおりませんで」というのが第一声でした。

谷口 支えになってる人、例えば食堂の方々とか技師の方々とか、それから購買なんかも。よそで聞くと儲からないので閉めてる学校が結構あるんです。そういう意味では藤高はいい人ばかりいるなあと思います。黒田先生の存在も本当に大きいですよ。保健室は逃げ場になるんですが、黒田先生は割りと厳しいからね（笑）。皆我慢して教室でやってるんです。

中須賀 でも人生相談までしておられるんですよ。

寺本 同窓会の方も後輩の事を思って、生徒会活動を補助したり、施設面とか、大きな行事とかで支援をしています。それを生徒は余り知らない。今の生徒には、いかに先輩が苦勞したかとか、表面には出ない資金面での援助等を、折りに触れて伝えることも大切ですね。

杉岡 クラブでもOBが来てくれると、支えてもらえるし、充実もするでしょうね。

伊藤 ブラスバンド部の場合は、常時来てくれるOBは10人前後ですけど、定期演奏会の前は2~30人は必ず集まってくれます。顧問が頼り無くても活動ができるというのは、やっぱりその辺が大きいですね。

林 今までうちの運動部に欠けていたのはOBの現役に対する関わりです。社会の中で中堅になってるOBも多いので、そろそろOB会としてクラブに貢献してくれるように望みます。

杉岡 ところで事務長さん、施設面で色々苦勞された点があるわけでしょう？

福田 私が参りましたのは15年目でしたが、施設設備につきましては、ぼちぼち不都合が出て来ているようです。私に来て2年目、あちこちで雨漏りがする。台風の夜などは階段からもう川のごとく流れてくる。原因箇所はなかなか分かりにくいんですが、何回か業者に来てもらって補修しました。最近では校舎の外壁が剝離して破片が落下することもあり。もしこれが下に居合せた人にでも当たれば大変な事なので、その破片を持って教育委員会へお願いに行き、昨年度の終わり頃には改修工事も終り、外壁が見違えるように奇麗になりました。それ以外でもLL教室



の設備を、優れた機能の機器に入れ替えて新しくするとか、そういった面でも色々改修や改善をして頂いています。

たいんで、そのためにお金がかかるから地方の国公立がいいという話になって来る。そういうふう
に飛んで行った生徒達は、いろいろ面白いですね。

長 個々の生徒が自分の個性に目覚めて、それを実現して行くのに、生き方の方向を多様に考えてあげ
なあかんと思うんですけどね。時代は高学歴を求めていますけど、藤高としたらやっぱり「いかに生
きるべきか」が人生の根本問題やから、それをしっかり正面に据えて、自分の個性をどう発揮するか
の産婆役をする、そんな事と違うかなと思っているんです。

香川 個性という言い方もあるけど、「自己表現」と言う生徒が自己をどのように表現するかと言うこ
とが、最近では変化してきていると思うんです。自己発言を余り上手にしない子
が多い。行事の「アップロード藤高」について、「高校生になったらこんな
具合にせないかんと、自分らで皆やってる事に感動した」という卒業生の答
辞がありましたが、ああいうショックを与えて行く必要があると思います。
もうちょっと自己表現をレベルアップさせる非常に大事な要素が、「これを
やったら」というアドバイスをどの程度浸透させるかという事の中にあるん
じゃないかなあと。それは音楽でも、行事でもいいし、あらゆる場面で自己表現の場が増えたら良い
のじゃないかと思います。生徒会でやったリーダー研修なんかはいいなあと思います。

長 今度の20周年の歌の歌詞を募集しましたでしょう。あれは予想していた以上に良い歌が集まったと
思いますよ。そして更に作曲ね、4曲集まって、3曲は水準以上なんですよね。そしてどれも捨て難
い。そういう個性のある子がやっぱり藤高におるんですよ。だからやはりそういうのを伸ばしてやる
ような事を大事にしたいというような気がしますね。[座談会の最後に曲と歌詞を掲載。ご覧下さ
い]

林 うちの生徒は、自分を主張するのが下手なんです。部活動でよく言われるんですが、ここ一番に
弱い。例えば、相手とせって一ついいプレーが出たら勝てるという所で、なかなか出ない（笑
い）。強い相手に当たったら自信をなくして力が出せない。打開法はクラブの場合は簡単で、練習量
を確保してやれば変わるんです。ところが、うちは生徒はなかなかやりたい事がやれない。これから
は、生徒に何かやる気を起こさせる、やらせてやる、「もっとやれ、お前のいい所を出して行け」と
いう指導をして行くのが、生徒指導の在り方だと思います。そういう意味で発想の転換が必要ではな
いかと思うんです。

中谷 その辺で昔の時代と比べて感じるのは、最初の頃というのは、職員の方もなかなか猛者揃いやっ
たなあという気がしますわ。例えば昔は校長さんの顔触れを見ても、初代の校長は、職員会議で「今
は俺が言うてんねんから、黙れ」とか（笑い）、そういう豪傑やったし、2代目の亡くなられた土井
先生なんかは、当時としては無茶苦茶ハイカラなクラウンスーパーサルーンに乗ってやって来て（笑
い）、凄く意外性のある新鮮なイメージを生徒に与えたというような事もあります。また、スーパー
スターと言われるような先生方もいっぱいおられました。みんなもっとバイタリティーがあったね。
今はそれぞれ個性はあるにしても、全体の中では、押さえて押さえてやってる。

香川 いや、それまでは問題が多すぎたから、こちらの方で張り切らないと仕方なかったんでしょう。

もっと付けささないかんのじゃないとか、学習面でも余りにも先生方が手を出し過ぎていたんじゃないとか、生徒自らがやるように持っていかないかんとか、それからクラブでも今後はOBとの連携をどのようにするかとか、その辺りを中心にこれからの藤高はどういう教育をしていくべきかが、見えて来たように思います。

杉岡 藤高の将来に、新たな展望が開けて来たようです。この辺りで本日の座談会を終了させていただきますが、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をたまわり、一層の発展を期したいと思います。

今日は、お忙しいところ本当にありがとうございました。



創立20周年記念歌

-20-FUJITAKA

藤井寺高校創立20周年記念歌「学び舎」

作詞 杉井 義徳 (17期生)
作曲 花田 匡由貴 (19期生)

「学び舎」…………… 3-2 杉井義徳 作

1. 風光る希望をいだけて じっとだまって たたずんでいる
今思えば もう二十年 君もハタチになったよね
※ おめでとう 20th Anniversary
ありがとう 20th Anniversary 花を贈るよ

2. 灼熱の日差しをあびて 僕らの汗を のみこんでいる
今思えば もう二十年 ずっと一緒に生きてきた
※ (繰り返し) 花を贈るよ

3. いわし雲の下のもみじと 声はずむ 僕らの教室
今思えば やっと二十年 君と僕らの思い出が
※ (繰り返し) 歌を贈るよ

4. 寒い北風鳴いている窓 何かを僕らに言っておくれ
今思えば やっと二十年 僕も大人になったんだ
※ (繰り返し) 歌を贈るよ

5. きっと一緒に笑っていた 確かに一緒に泣いていた
君と僕らの三年間 この胸の奥にしよう
※ (繰り返し) 光を贈るよ

Musical score for the song "学び舎" (Study Room). The score is written in G major and 4/4 time. It consists of six staves of music with corresponding lyrics in Japanese. Chords are indicated above the notes.

Lyrics:
かぜひかる きぼう を いだ い て
じ っ と だ ま っ て た た ず ん で い る
い ま お も え ば
に じ ゅ う ね ん き み も ハ タ
チ に な っ た よ う ね
お め で と う ト ョ ン テ ィ ー ス ア ニ
バ サ リ ー あ り が と う ト ョ ン テ ィ ー ス ア ニ
バ サ リ ー は な を お く る よ

■教務内規

1977年（S52年）にはほぼ完全なものができあがった。その後、問題点が生じるたびに改善され現在に致っている。たとえば、評定基準に関して平成2年に変更された。進級規定についても補充の時間が導入された1982年度（S57年）、その時間が名実ともに消滅した1992年（H4年）に大きな変更があった。今後、新指導要領の年である1994年度（H6年）において、おそらく大きな変更があるものと予想される。

■教務事務

成績処理についてパソコンが導入され、平成2年からは、成績一覧表は打ち出された用紙そのものを原票とすることができた。生徒の個人カードも廃止され、17期生から2・3年次の学年初めに、それまでの成績を打ち出し新担任に配布できるようになった。終わりに成績処理ソフトの開発に尽力して下さった来住隆一氏に篤く感謝致します。

1期生 教育課程表

教科 科目	1年	2年	3年		
			文系	理系	
国 語	現代国語	3	2○2	3	3
	古典Ⅰ甲				
	古典Ⅰ乙	2	3		
	古典Ⅱ			3	
	倫理社会		2		
社 会	政治経済			2	2
	日本史			5	3△2
	世界史		2	△2	△2
	地理A	3			
	地理B			△2	△2
数 学	数学Ⅰ	6			
	数学ⅡA				
	数学ⅡB		3○2	2※2	
	数学Ⅲ				6
理 科	物理Ⅰ		3		
	化学Ⅰ		3		
	生物Ⅰ	3			
	地学Ⅰ	2			
	物理Ⅱ			▽3	※3
	化学Ⅱ			▽3	※3
	生物Ⅱ			▽3	※3
	地学Ⅱ			▽3	※3
保健 体育	体育	男4 女2	男4 女2	3※2	3
	保健	1	1		
芸 術	音楽書Ⅰ	2			
	音楽書Ⅱ		2		
	音楽書Ⅲ			※2	
英 語	英語A				
	英語B	6	5	5※2	7
	家庭一般	女2	女2		
	食物Ⅰ			※2	
家庭 被服Ⅰ			※2		
教科・科目の計	32	32		32	
HR・クラブ活動	2	2		2	
総計	34	34		34	

10期生 教育課程表

教科 科目	1年	2年	3年		
			文系	理系	
国 語	国語Ⅰ	5			
	国語Ⅱ		4	○2	
	国語表現			○2	
	現代文			3	3
	古典			△3	
社 会	現代社会	4			
	日本史			3	▽4
	世界史		4		
	地理			3	▽4
	倫理 政治経済			○2	○2
数 学	数学Ⅰ	5			
	数学Ⅱ				
	代数幾何		2		
	基礎解析		3		
	微分積分			△3	4
	確率統計			3	3
	理科Ⅰ	4			
理 科	理科Ⅱ	2			
	物理				◇5
	化学	3		○2	2
	生物			◇4	◇5
	地学			◇4	
保健 体育	体育	男4 女2	男4 女2	3○2	3
	保健	1	1		
芸 術	音楽書Ⅰ	2			
	音楽書Ⅱ		2		
	音楽書Ⅲ			○2	
英 語	英語Ⅰ	5			
	英語Ⅱ		5	3	3
	英語ⅡA				
	英語ⅡB			3○2	3
	英語ⅡC				
家 庭 食 物	家庭一般	女2	女2		
	食物			女○2	
教科・科目の計	30	30		30	
HR・クラブ・補充	4	4		4	
総計	34	34		34	

17期生 教育課程表

教科 科目	1年	2年	3年		
			文系	理系	
国 語	国語Ⅰ	5			
	国語Ⅱ		5	○2	
	国語表現			○2	
	現代文			3	3
	古典			△3	
社 会	現代社会	4			
	日本史		2	3	▽4
	世界史		2	2	
	地理			×4	▽4
	倫理 政治経済			○2	○2
数 学	数学Ⅰ	5			
	数学Ⅱ				
	代数幾何		3	×2○2	
	基礎解析		3	×2	
	微分積分				4
	確率統計			3	3
	理科Ⅰ	5			
理 科	理科Ⅱ				
	物理	#2	#3	#5	
	化学	3	△3#3	4	
	生物	#2	#3	#5	
	地学	#2	#3		
保健 体育	体育	男4 女2	男4 女2	3○2	3
	保健	1	1		
芸 術	音楽書Ⅰ	2			
	音楽書Ⅱ		2		
	音楽書Ⅲ			○2	
英 語	英語Ⅰ	6			
	英語Ⅱ		2	3	3
	英語ⅡA				○2
	英語ⅡB		3	○2	
	英語ⅡC			3	3
家 庭 食 物	家庭一般	女2	女2		
	食物			女○2	
教科・科目の計	32	32		32	
HR・クラブ活動	2	2		2	
総計	34	34		34	

選択方法等……※印2科目選択。他1科目選択。#印連続履修。

進路指導年間計画

- 4月：3年学年集会 3年進学説明会
- 5月：保護者向け大学説明会、短大説明会企業訪問
- 6月：各学年集会 分野別進学説明会（2年）
受験希望校提出（1回目）
- 7月：3年学年集会
進学関係の全情報のまとめと担任への提出
- 8月：就職者指導
- 9月：受験校提出（最終）
- 10月：進路学年集会（2・3年）進路HR（1年）
- 12月：一般入試に向けた学年集会
- 2月：学年集会（1・2年）進路HR（1・2年）
- 4月～10月：外部模試、校内実力考査

図1（4年制大学合格者数）

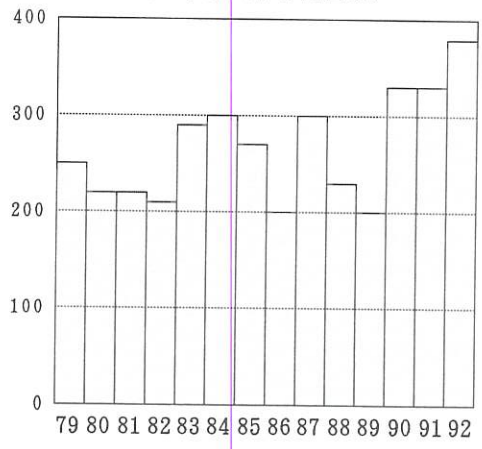


図2（4年制大学現役合格者数）

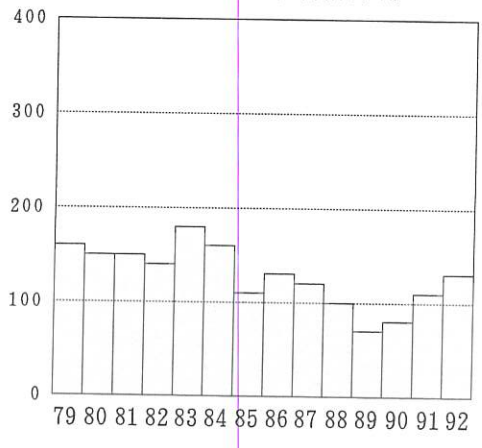


図3（国公立大学合格者数）

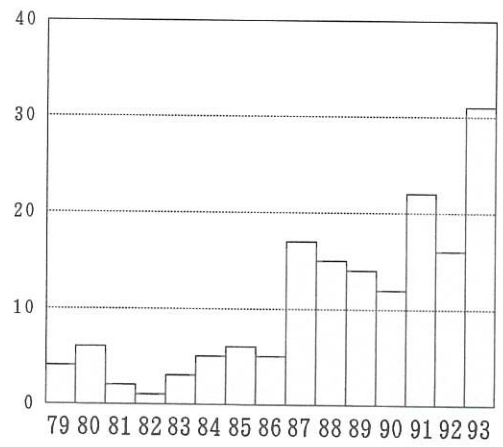


図4（短期大学合格者数）

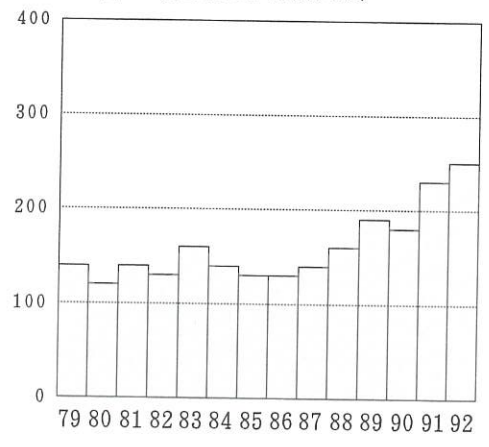
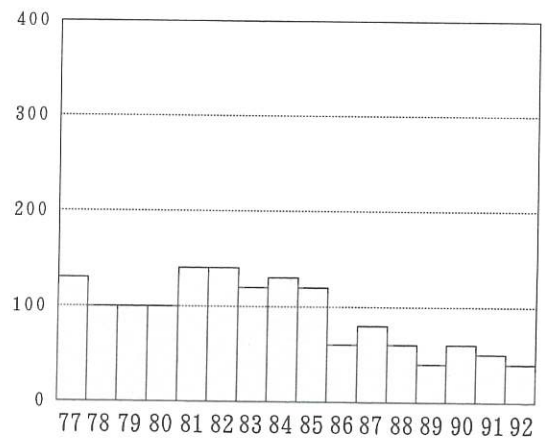


図5（就職者数）



〔保健部〕

■保健部

保健図は創立以来健康・環境・安全の3管理部門を中心に組み立てて来た。生徒保健委員会は1975年（S50年）より引き続き活動を続けている。

1. 健康管理

定期健康診断を通じて処置依頼書を発行し、各自の健康管理に留意させているが、う歯保有者、裸眼視力0.9以下の生徒は10年前と大差ない。内科的には、アレルギー疾患を訴える生徒が増加してきている。また今年は特にインフルエンザが全国的に猛威をふるい、本校でもインフルエンザによる欠席者が目立った。

2. 環境管理

毎日の清掃、月一回の大掃除には全職員が監督指導にあたり、校内の環境美化を生徒とともに強力に押しすすめている。

3. 安全管理

- 安全点検 4月・9月・1月
- 水質検査 飲料水 4月・9月
プール 7月
- 照度検査 二教室 11月
- 空気一斉調査 二教室 2月

上記のそれぞれの月に実施したが、安全点検では、監督の職員より申し出のあったものを集計して事務室へ提出し、学校内で処理できるものと府へ依頼するものとに分け、早期に危険箇所を発見し、その修理が行なえるよう努力している。水質・照度は適合であったが、空気についてはストーブ使用中は換気が必要であることと、ストーブの設置場所が生徒に近すぎるとの指摘があった。

4. 保健委員会活動

各クラスより選ばれた委員が、学年別に活動している。

- 1年 保健衛生、美化等に関する「ポスター」を作製し、廊下、トイレ等に掲示。
- 2年 年四回「保健だより」を発行し、全員に

配布、健康に対する意識の啓蒙に努めた。

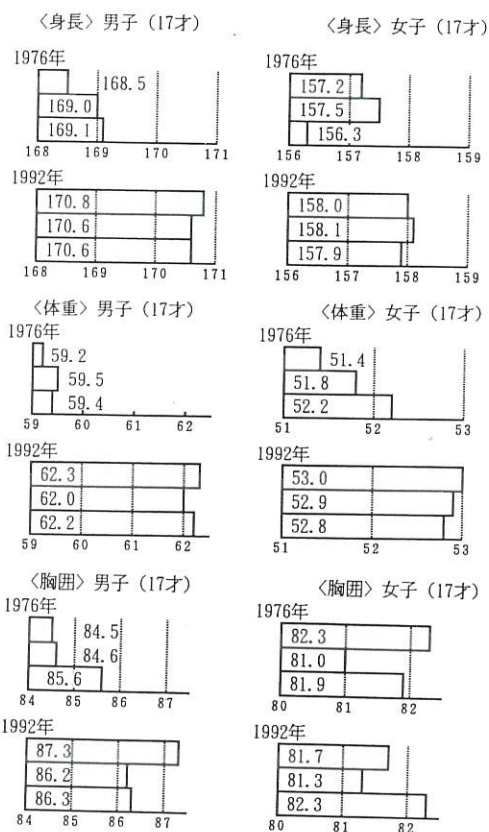
- 3年 年三回、清掃後に「清掃点検」を行ない、監督の先生に報告。

5. 保健室での救急処置

保健室の利用状況は別表の通りであるが、10年前に比べ内科も外科も利用者が減少してきている。これは年々健康の自己管理の出来る生徒が増えてきたものと思われる。しかし逆に不定愁訴の生徒の増加が気になるところである。

身体状況

グラフは上から「本校平均」「大阪平均」「全国平均」

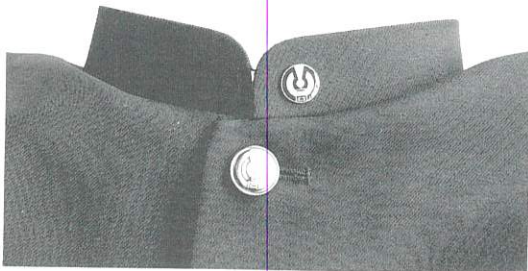


＜保健室利用状況比較＞

	1982年	1991年		1982年	1991年
内科			外科		
頭痛	258	93	擦り傷	106	90
感冒	413	58	切り傷	35	42
腹痛	273	289	打撲	97	71
胃腸痛	74	53	突き指	78	58
下痢	30	51	捻挫	61	53
悪心	106	134	筋肉痛	36	22
気分不良	155	229	骨折/疑	5	14
腕力感	97	26	腕臼	4	5
脳貧血	21	5	刺し傷	10	6
生理痛	86	37	つめ		7
めまい	19	14	耳鼻科	12	5
その他	69	37	眼科	46	16
			その他	88	52
合計	1601	1026	合計	578	441

子供の言いなりで購入するため、き地の上質上等なデザイン裏地のこったもので、平均的な品物より、3000円～7000円程度は高いものを競うように買っているようである。女子は制服があるのに男子は自由であるとか、服装に関しては平等の精神はくずれている。そこで男子の制服の制定を推進することになり、販売業者を女子と同様指定する。変造変型とか価格差、制服の乱れを少しでも防止したい。今迄よりも改まった気持ちで制服の色も女子と同じ紺無地詰えり型にする。男女同色することにより、今迄以上に藤高生であることの自覚と独自性を十分に生かすのに役立つように苦心する。

詰えりの左上に付けさせていた校章バッチをプレスして取りはずせないようにする。従来の制服の詰の窮屈感を解消し、授業中もリラックスして勉強が出来るよう、えりのカラーをラウンドカラーにする。スクールユニホームで藤高集団としての統一性も出来き、又校外でも見分けがつきやすく他校生との区別もはっきりする。以上の趣旨、目的を、いろんな場で説明し、説得し、生徒指導部でも原案に就いて何度も討議を重ね、更に職員会議で何回も審議した上で1988年（昭和63年）10月成案を得たもので、それはそれなりに多少の努力はしたものです。生徒の反論も無く1989年（平成元年）4月、新入生から、男子の制服が新しく変わった。



ラウンドカラー

■教育相談

相談室は、主として不適応症状を示す生徒を中心に、その対応指導のあり方を模索しながら活動してきた。生徒のおかれた事情の複雑さを理解することを出発点とし、同時にこれを目標にして、ケースワーク的な情報の収集、教員相互の協力推進、そして、度々の事例会議等を重ねてきた。

カウンセリングを含む、生徒・保護者からの相談への対応、専門機関・書籍の紹介、不適応生徒との面接その他、実態調査や落とし物の紹介、取り扱い等が活動の主なものである。

1978年（昭和53年）

- 生指部に相談係を設置。係員6名。
- 生徒も落ち着き、生徒指導にも工夫が必要であるという主旨。
- 1年生へPAI実施。教科準備室等を相談室にあてる。
- 相談室案内のプリントを生徒へ配布。
- 自主来談を促す一方、不登校生徒の相談、懲戒生徒への事後指導に当たる。

1979年度（昭和54年）

- 兼任を避ける方向で係員4名。

1980年度（昭和55年）

- 不適応、不登校生徒が増えてきたため、前年度の校内実態調査実施。

1981年度（昭和56年）

- 独立した「相談室」を設置。
生徒指導部（6名）、保健部（2名）、同和推進委員会（1名）、進路指導部（1名）とする。
室長は室員の互選。

- YG検査（全学年）・YG相談の実施。

1982年度（昭和57年）

- YG検査・YG相談の実施（1・3年）。

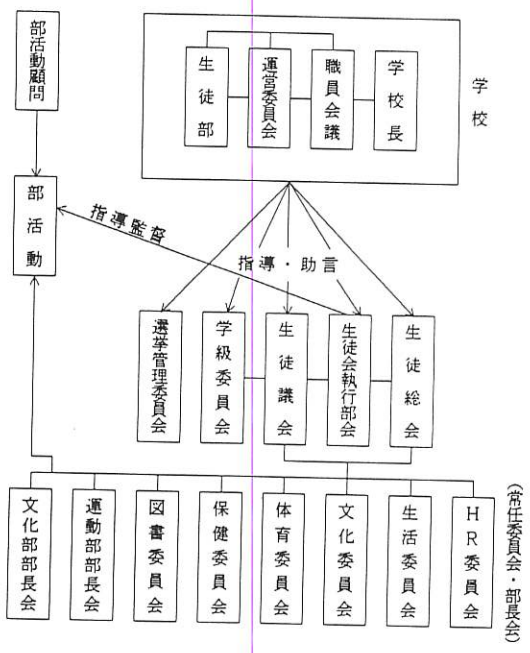
1983年度（昭和58年）

- 継続的に「悩みの調査」実施。
- 進学年に向けて教育相談上配慮の必要な生徒についての情報交換会。

1984年度（昭和59年）

- 「相談室だより」（生徒向け）、「相談室から」

● 生徒会組織 ●



第1回リーダー合宿 (92.6.13~14)

本校でも、近年生徒の自主性のなさ・リーダー不在が目立つようになり、生徒会部を中心に自主的なクラス集団作りと、そのためのリーダー育成を目的に、92年から津堂会館を利用してリーダー合宿が実施されるようになった。

- 〈スケジュール・第1日目〉
- ◇開会式 (15時)、オリエンテーション
 - ◇室内ゲーム (集団作りのためのレクリエーションの練習、楽しみ方)
 - ◇クラス現状分析 (集団の現状を認識し、リーダーとしての改善の方向、目標をさぐる)
 - ◇グループ別討論 (問題意識をもってクラスを見つめ、その結果を寸劇にまとめる)
 - ◇夕食 (18時)
 - ◇ファイヤーストーム (グループで協力して行動、ファイヤーストームの運営、寸劇の上演)
 - ◇天体観測 (希望者) 入浴
 - ◇消灯 就寝 (22時)
- 〈第2日目〉
- ◇起床 (6時半) 清掃 ラジオ体操 朝食
 - ◇全体討論 (3部構成でホームルームでの討議や

司会の仕方について学習 文化祭のイメージを持つ)

- ◇昼食 (11時45分)
- ◇まとめ アンケート 閉会式 (14時)

第2回リーダー合宿は、前回の反省にたち、より一層内容を充実したものにし、合宿を通じて集団をリードする生徒が少しでも芽生え、クラスで活躍してくれることを期待している。

必修クラブ

開校前年度に登場した必修クラブの扱いは、校舎等完成途上の本校にとって難題であった。その後、幾多の変遷を経つつも必修クラブの目的達成に向かって前進しつつある。

- 1974年~75年 (昭和49年~50年)
部活動と一体化した形で実施。
- 1976年~79年 (昭和51年~54年)
部活動を中心に、必修クラブ独自のものを上乗せして実施。
- 1980年 (昭和55年)
学級単位で活動する講座ローテーション方式で実施。
- 1981年~ (昭和56年~)
過去の経験と反省の上にたち、活動可能な場所で内容を精選した形で、部活動を中心にした上乗せ方式で実施。

1987年度 (昭和62年) 必修クラブ

体育系	バドミントン 柔道 女子バレーボール ワンゲル 女子ソフトボール ゴルフ 硬式野球 男子バスケットボール サッカー ウェイト・トレーニング 硬式テニス ジョギング
文化系	箏曲 茶道 英文タイプ 手芸 切り絵 将棋 男子料理 共通一次ゼミナール 書道 ギターリコーダーアンサンブル パフォーマンス研究 ペルシャ語入門 机上旅行 朝鮮文化研究 地理歴史研究 映画製作 数学ゼミナール 漢文入門 凧製作 力のかつ古典文法トレーニング 映画鑑賞 ネバーギブアップ数I 華道

年間の主なPTA事業（1992年度）

■1992年

- 4月（入学式）実行委員会
「PTAだより」発行
新役員会 会計監査 新実行委員会
新旧実行委員会〈学級委員選出〉
- 5月 PTA定例総会
3年PTA集会（大学説明）
府高校安全互助会 PTA協議会総会
3年PTA集会（短大説明）
〈生徒・PTA名簿発行〉〈専門委員決定〉
- 6月 藤高フェスティバル「体育の部」
第7ブロックPTA協議会総会
委員総会（学年・専門委員）芸能鑑賞
3年PTA集会（就職説明）
- 7月 PTA新聞「育友（30号）」発行
- 9月 文化委員会 実行委員会 PTA作品搬入
藤高フェスティバル「文化の部」
〈PTA作品展〉〈実演コーナー〉
- 10月 進路講演会 1年PTA集会
2年PTA集会（教育課程）
20周年記念実行委員会 実行委員会
PTA研修会
- 11月 PTA講演会（講師 早川勝広氏）

■1993年

- 1月 実行委員会
- 2月 20周年記念実行委員会
実行委員会 会長選出委員会
PTA新聞「育友（31号）」発行
卒業証書授与式
- 3月 会長選出委員会



同窓会

- ◇名称 大阪府立藤井寺高等学校同窓会
◇発足 1977年（昭和52年）4月1日
◇会員数 9292名（1期～17期卒業生）

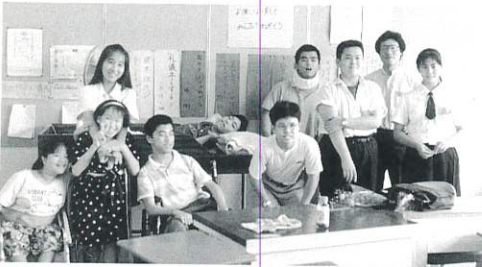
主な行事・事業経過

- 総会 年1回（但し、第4回より規約改正により幹事に代える）
- 役員会、幹事会、会計監査、毎年開催
- 懇親会 1977年（S52年）～1982年（S57年）は1～6期生を対象
1983年（S58年）は7期生を対象
1984年（S59年）は8期生を対象
以上8月開催（本校食堂にて）
1985年（S60年）以降は中止
- 「同窓会報」
創刊号 1978年（昭和53年）発行
第2号 1979年（昭和54年）発行
第3号 1980年（昭和55年）発行
第4号 1983年（昭和60年）発行
第5号 1985年（昭和60年）発行
第6号 1990年（平成2年）発行
- 「全同窓会員名簿」
創刊号 1986年（昭和61年）発行
第2号 1991年（平成3年）発行
- 各期「同窓会員名簿」（卒業年度）
1期（1977年 昭和52年）
～17期（1993年 平成5年）
の各卒業年度の8月に発行
- 母校創立10周年記念事業（1983年 昭和58年）
記念植樹「藤棚」（食堂前）贈呈
教職員へ記念品「コーヒーカップ」贈呈
同窓会員の記念式典及び懇親会開催
- 母校創立20周年記念事業（1993年 平成5年）
記念事業資金贈呈（記念式典、記念品、文化事業、祝賀会等）
教職員へ記念品贈呈

- 1990年 「藤高文化祭交流」と「藤養体育祭交流」が復活。
- 1991年 文部省より「平成3・4年度奉仕等体験学習研究指定校」に指定。中間報告書提出。
- 1992年 同上。研究報告書提出。

■本年度の予定■

- 5月24日(月) 職員研修「藤養見学会」
- 5月27日(木) 1年交流HR
- 6月11日(金) 藤高フェス体育交流
- 7月14日(水) 授業交流1日目
- 7月15日(木) 授業交流2日目
- 7月19日(月) 音楽交流
- 7月22日(木) 宿泊交流1日目
- 7月23日(金) 宿泊交流2日目
- 9月25日(土) 藤高フェス文化交流
- 10月3日(日) 藤養体育大会交流
- 12月中旬 藤養カラオケ大会交流
- 2月4日(金) 藤養文化祭交流展示1日目
- 2月5日(土) 藤養文化祭交流展示2日目
- 2月6日(日) 藤養文化祭交流展示3日目
- 他に生徒会執行部の交流が随時。式典に祝電の交換なども行われている。(交流委員会)



〔食堂委員会〕

食堂委員会は、職員・生徒会・PTAの代表によって構成されている。業者との値段交渉や利用者側の要望等について話し合いを重ねた。味・量・値段は今のところ生徒には好評である。

■食堂献立値段■

定食、カツカレー、弁当
オムライス、カツ丼

1975年	200円
1982年	250円
1993年	300円

カレーライス、焼きめし、玉子丼

1975年	150円
1982年	200円
1993年	250円

てんぷらうどん、きつねうどん、
カレーうどん、ラーメン

1975年	100円
1982年	130円
1993年	170円

パン(80円)

1975年	80円
1982年	100円
1993年	120円

ライス

1975年	60円
1982年	80円
1993年	110円

ジュース、牛乳、パン(50円)

1975年	50円
1982年	60円
1993年	70円

男子400mリレー 4位(森井)

男子走高跳 3位(森井)

- 1987年度 大阪IH 男子400m 3位(高田)
 近畿IH 男子400m、400mリレー 出場
 大阪総体 男子100m 優勝(松下)
 近畿総体 男子100m 出場(松下)
- 1988年度 大阪IH 男子400m 6位(榊山)
 近畿IH 男子400m 出場(榊山)
- 1992年度 大阪総体 女子400m 8位(岡田)

○硬式野球部

- 1983年度 春季近畿大会大阪府予選ベスト8



○男子硬式テニス部

- 1982年度 夏季大会ブロック優勝(安村)
 1984年度 大阪総体地区予選ベスト4
 1986年度 大阪総体地区予選ベスト4
 1988年度 大阪総体地区予選ベスト4

○女子硬式テニス部

- 1984年度 春季大会団体ブロック準優勝
 ダブルス準優勝
 総体ブロックダブルス準優勝
 新人戦団体ブロック準優勝
- 1985年度 春季大会シングルブロック優勝
 総体ブロックダブルス準優勝
 新人戦団体ブロック準優勝
- 1987年度 春季大会シングル本戦出場
 総体ダブルス本戦ベスト32
 新人戦団体 本戦出場
- 1991年度 春季大会シングル予選準優勝
 新人戦団体 予選準優勝
 南河内大会決勝リーグ 優勝
- 1992年度 春季大会ダブルス本戦出場
 総体シングル 予選準優勝
 新人戦団体 予選準優勝

○男子軟式テニス部

- 1977年度 大阪総体中央大会出場
 1979年度 大阪高校春季大会中央大会出場
 1981年度 大阪総体ブロック 4位、府ベスト16
 1982年度 大阪高校春季大会 団体ブロック 2位
 大阪総体中央大会出場
- 1988年度 大阪総体中央大会出場
- 1989年度 大阪IH ブロック 3位
- 1991年度 大阪IH ブロック団体 3位
 大阪総体中央大会ベスト8
- 1992年度 近畿選抜インドア大会出場
 大阪IH 団体戦ブロック 2位
 新人団体戦ブロック優勝

○女子軟式テニス部

- 1979年度 大阪高校春季大会 団体ブロック 2位
 1982年度 大阪高校春季大会 団体府下ベスト16
 1991年度 大阪公立高校大会地区ベスト8
 大阪総体団体戦ブロック 3位
 大阪秋季ブロック大会 準優勝
- 1992年度 大阪IH団体戦ブロック 3位
 大阪公立高校大会地区ベスト4
 大阪秋季ブロック大会
 優勝、ベスト4、ベスト8 各1

○男子バレーボール部

- 1980年度 春季大会3部 優勝(2部へ昇格)
 1981年度 春季大会府下ベスト16

○女子バレーボール部

- 1979年度 府立高校大会ベスト16
 選抜大阪府予選ベスト16
- 1982年度 選抜大阪予選ベスト16
- 1984年度 春季大会 2部 3位
 新人大会 2部 優勝(1部へ)
- 1986年度 春季大会 1部 2位
 新人大会 1部 3位
- 1988年度 近畿大会出場
 新人大会 1部 2位
- 1990年度 春季大会 1部 3位
- 1991年度 春季大会 1部 3位

○男子バスケットボール部

- 1977年度 新人戦中央大会出場

部活動の状況

— 運動部 —

● <柔道部>

学校創立時の2人から現在に至り、過去20年間において各大会で数々の功績を残しています。そして、多くの先輩達が柔道部を卒業していきました。今後も私達が一丸となり練習に励みたいと思う。

● <剣道部>

藤井寺高校剣道部は、第1期生から続く伝統のあるクラブです。年に一度のOB会にはたくさんの先輩の方達が来られる由緒正しいクラブです。当然のように礼儀を中心にしたクラブ活動を楽しんでいます。

● <卓球部>

公式試合に向けて、基本練習から実戦まで色々と技術向上のため練習内容を工夫しています。また例年、夏期合宿も行っています。

● <陸上競技部>

春から夏にかけて多数の大会があり、冬場は体力トレーニングを中心に練習しています。部員1人1人が目標を持ち上位入賞を目指しています。現在2年13名1年18名で活動しています。

● <野球部>

日々の厳しい練習に耐え、良い成績を残せるよう顧問の先生及びOBの指導のもと、部員全員大いに頑張っています。目標は、公式戦ベスト8に残れるよう、今後も部の伝統を引きつぎ頑張ります。

● <ワンダーフォーゲル部>

ワンダーフォーゲル部の活動は、月曜日から金曜日までの放課後で、土・日は原則としてありませんが、毎月1回休日を利用して山行をしています。さらに、年3回の合宿があり、昨年は岩湧山、白馬岳、大峰山などに登りました。

● <男子硬式テニス部>

公式試合で“本戦出場”を目標に頑張っています。そのため、基礎的体力・技術をつけることに重点を置き、実践的練習もたくさん行っていま

す。1期から続く伝統ある部をより発展させていきたいと思っています。

● <女子硬式テニス部>

ここ数年続けて20名近い入部者を迎え活気にあふれた活動が行なわれています。全単の期で本戦出場者が、団体でも本戦で有名校と互格の試合をしたり府下ベスト16と32が同時に出た期もあり部員一同先輩に追いつけ追いこせで頑張っています。

● <男子軟式テニス部>

月～土までラリー2本打ちボレー等試合形式練習で活動しています。また、土曜日には練習試合を組んでいます。

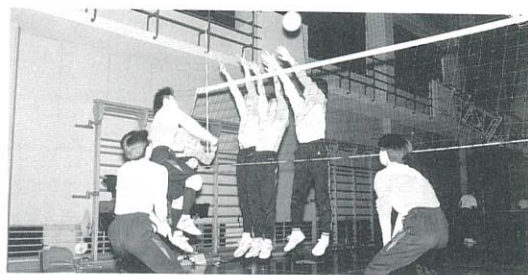
● <女子軟式テニス部>

年間数多くの練習試合を消化しています。特に今年の夏経験した全国ベスト4の琴ヶ丘高校との練習に全国への壁と夢を与えてくれました。部員一同近畿大会出場を合言葉に頑張っています。行くぞ！中央大会！！

めざせ近畿・全国大会！！ 声援をお願いします。

● <男子バレーボール部>

体育館の使用できる日が週に4回と少ないですが、主にスパイク練習を中心に練習しています。部員仲が良く楽しく活動しています。現在2部ですが、上位をめざしています。



● <女子バレーボール部>

私達女子バレーボール部は、毎日の練習を試合に向けてみんなで一生懸命取り組んでいます。練習は厳しいですが楽しく、毎日がんばって活動をしています。

● <男子バスケット部>

練習雰囲気良く、部員全員と顧問の先生を中心に勝つ気で練習しています。昨年は地区ベスト

高校美術工芸展等、年2回作品を出展しています。また第7学区の高校美術部とも交流会をもったり、藤養の文化祭にも参加しています。

● 〈フォークソング部〉

ギターを片手に歌が歌えることをマスター出来ればと頑張っています。文化祭にもみんなでバンドをやって、いろんなジャンルの音楽を楽しんでいます。みんな音楽好きな子ばかりなので、積極的に音楽に触れています。

● 〈ESS部〉

昭和58年AETのクルックス先生と共にESSサークルとして発足。以後同好会として活動。平成2年から3年にかけて、アリソン先生をAETとして迎え活動。現在AETのシェリー先生の指導の下に部員15名で活動中。フリートークやクイズ大会、文化祭で英語劇を演じるなど英語を楽しんでいます。

● 〈地歴部〉

史跡めぐりや興味のある事について調べたりしています。特に、藤井寺という土地は古墳などが多くある町、歴史の古い地です。そんな遺跡をめぐっています。

● 〈漫画アニメ研究部〉

約10年間、漫画研究部とアニメ研究同好会という別組織でしたが、本年度より合併し現在部員数26名の大所帯の部です。オリジナル中心の漫研とパロディ中心のアニ研の主だった活動は、年数回の部誌発行・イラストやセル画の展示・他に漫研は学校行事のパンフ・プログラムのイラストやカット製作などがあります。今年から心機一転、頑張っ活動の場を広げていこうと計画しています。

● 〈放送部〉

私達放送部では、月曜日から金曜日まで活動しています。昼休みには、リクエストによりテープをかけ、放課後には下校放送などを流しています。また、集会等においては、機材のセッティングを行ない頑張っています。

● 〈茶道部〉

現在部員数21名、活動日は月と木週2回で木に

はお茶の先生にも来ていただいています。新入生歓迎会、文化祭などの校内茶会、自分たちの手でおまんじゅう作りに挑戦、また、校外でのお茶会にも出席する等、活発に意欲的に活動しています。

● 〈現代音楽研究部〉

フェス文化でのLiveや文化部合同発表会を目指して、毎日放課後全バンドで頑張っています。トレーニングメニューも入れて充実した活動を続けています。OBにはプロとして活躍する人も多く、私達も目標を持って、少しでもレパトリーを増やすよう努力しています。

● 〈箏曲部〉

現在部員数は9人です。文化祭、新入生歓迎会、藤井寺養護学校の文化祭などに出演し、「さくらさくら」「まつ虫」「登山電車」「花かげ変奏曲」などを弾いてきました。これからも精一杯頑張っていきたいです。

● 〈ボランティア部〉

藤養との交流＝文化祭・体育祭に相互に参加。また合同合宿もしています。高鷲学園へ月に1～2回土曜日に訪問し、ともに遊び、部員全員が楽しく活動しています。

● 〈書道サークル〉

少数ながらも一生懸命活動している書道サークルの一年間の活動内容は、主に文化祭や大阪市立美術館にて開催される「高校書道展」への出品です。出来上がった作品は時間をかけただけあってとても満足感があります。

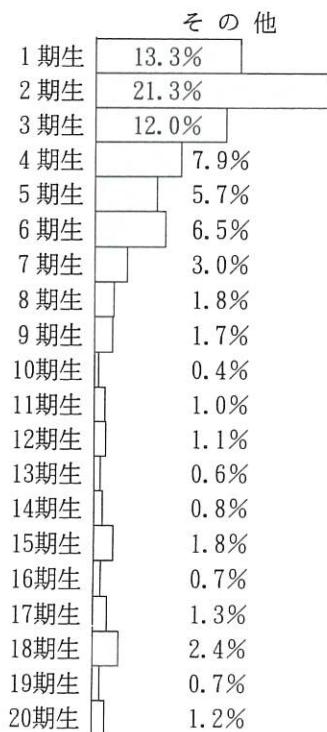
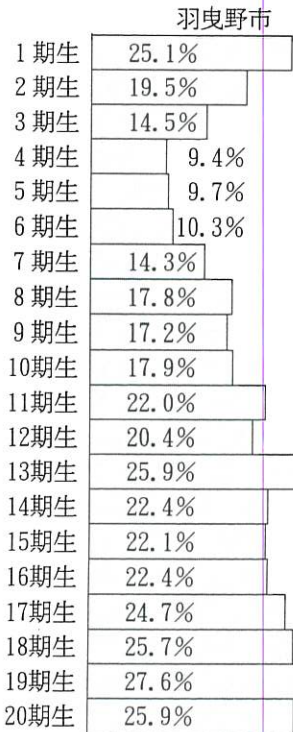
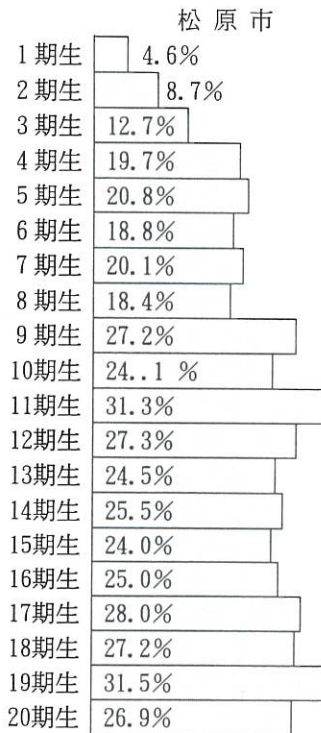
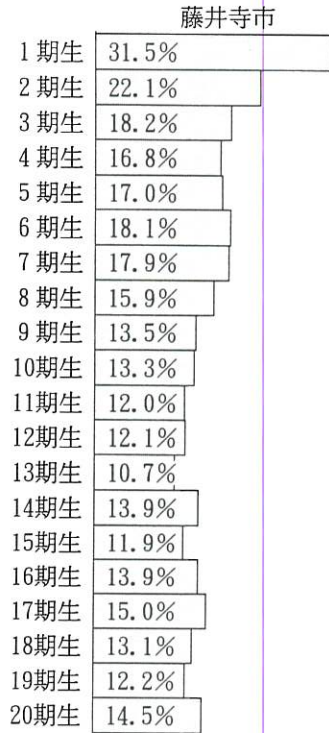
● 〈マイコン同好会〉

いま、部員は8人。学校にあるパソコンは古過ぎて使っていませんが、部員全員がパソコンを持っているので、それぞれが情報交換をしながら文化祭に向けて活動しています。今年はゲーム以外のこともやって行きます。

● 〈コーラスサークル〉

18期生の入学と同時にできた歴史の浅いものですが、個性を生かした練習を大切に、金丸先生を中心に頑張っています。

【生徒居住地の推移】



【歴代PTA役員】

年度	役員		書記	会計	会計監査	企画	生活指導	1 年	
	会長	副会長				文化	環境	2 年	3 年
						進路	保健		
1974 (S49)	山本 義一	寺田 一之逸子	本多 弘子 橋本九二男	木村 一雄 斉藤 博	赤松 政雄 北口 茂満蔵	坂東 貞雄	吉岡 清己 永井 克一 川出 敬一		
1975 (S50)	山本 義一	寺田 一之逸子 竹網 一雄 木村 一雄	本多 弘子 前田 昭吾	赤松 政雄 斉藤 博	永井 克己 坂東 貞夫 岡田 茂	北口 茂良 吉岡 隆子 花川 忠彦	山本 満茂 辻本 義一 川出 充子	土井スエ子 赤部アヤ子	
1976 (S51)	山本 義一	寺田 一之逸子 木村 一雄 土井スエ子	竹網 逸子 寺本 勉	坂東 貞雄 斉藤 博	赤松 政雄 大松 隆蔵 永井 克己	北口 茂良 入江 久子 花川 忠彦	山本 満茂 辻本 義一 金森多恵子	内本八重子 辻 伸一 赤部アヤ子	
1977 (S52)	辻本 義一	大松 隆蔵 北口 茂良 土井スエ子	広嶋昭三郎 山内 政治	富永 和子 斉藤 博	西野 文子 内本八重子 藤林 慎造	西 三宅 弘子 辻 伸一	武林 健一 明瀬 歳治 西田 厚子	榎本寿美子 真綱 貞代 金森多恵子	
1978 (S53)	広嶋昭三郎	北口 茂良 明瀬 歳治 内本八重子	三宅 弘子 小川 勇	森氏 清博 斉藤 博	藤林 慎造 鈴木 悦子 安田 義徳	西 谷川 忠治 磯野 尚三	多田 満 辻本 忠次 竹田津鎮江	原田千代子 榎本寿美子 真綱 貞代	
1979 (S54)	広嶋昭三郎	北口 茂良 明瀬 歳治 吉野 富子	辻本 肇 小川 勇	森氏 清博 斉藤 博	藤林 慎造 安田 隆蔵 大松 雄作	西 小池 勝次 磯野 尚三	多田 満 西野 忠次 居嶋 知子	谷本 彦一 原田千代子 榎本寿美子	
1980 (S55)	広嶋昭三郎	辻本 肇 山口 吉野 富子	居嶋 知子 小川 勇	高田 昌亮 井上 悦男	岡田 雄作 天見 晴一 高光 弘	谷口 彦一 山本恵美子 小池 勝次	多田 満 山本 忠彦 大江嘉代子	大橋 光子 阪木 葉子 原田千代子	
1981 (S56)	辻本 肇	高田 昌亮 吉野 富子 安井 将浩	居嶋 知子 瀬戸 勝巳	杉本 邦男 井上 悦男	山口 弘 高光 行子 河崎 道子	安方 文治 山本恵美子 小池 勝次	吉岡 増夫 山本 忠彦 矢倉 和子	三好 節子 大橋 光子 阪木 葉子	
1982 (S57)	高田 昌亮	安井 将浩 杉本 邦男 光野 光子	三好 節子 瀬戸 勝巳	笠原 純英 井上 悦男	山口 弘 田中 弘美 上野 弘美	喜多 啓介 樋口 弘子 元山 隆雄	中西 武夫 中村佐智子 西 純子	家元 清子 加世堂キミ子 大杉 静子	
1983 (S58)	杉本 邦男	笠原 純英 喜多 啓介 原 弘子	中西千代子 瀬戸 勝巳	上野 弘美 井上 悦男	西 福間 咲子 林 式子	山本 隆治 福中 栄子 元山 隆雄	馬々脇敏子 阿波島政子 山本よし子	小谷八重子 家元 清子 加世堂キミ子	
1984 (S59)	笠原 純英	喜多 啓介 上野 弘子 田中 弘美	中西千代子 寺本 勉	三宅 司 松井 茂	北川 嗣雄 小谷八重子 荻野加代子	山本 明 安井 イト 北村 東子	池内 和夫 福間 咲子 福中 栄子	田倉 洋子 綾城加代子 小松 未子	
1985 (S60)	喜多 啓介	北川 嗣雄 三宅 司 中西千代子	綾城加代子 寺本 勉	谷口 久雄 松井 茂	榎本 武 脇村 幸子 藤澤茂登美	山本 博子 住川 エミ 日比野 静	永井 亮 大山 豊子 荻野加代子	桜井千鶴子 加納 永子 福間 咲子	
	会長	副会長	書記	会計	会計監査	企画委員長 文化委員長 進路委員長	生活指導委員長 環境副委員長 保健副委員長	1年委員長 2年委員長 3年委員長	1年副委員長 2年副委員長 3年副委員長
1986 (S61)	谷口 久雄	北川 嗣雄 榎本 武 荻野加代子	山本 博子 寺本 勉	衣笠 一美 松井 茂	藤澤茂登美 正木 正義 榎山忠次郎	大山 豊子 日比野 静 大石 雅庸	山田 貢 福田 弘子 長尾 芳子	中山 治雄 桜井千鶴子 高倉 旭彦	田中恵美子 高倉 旭彦 三宅美代子
1987 (S62)	榎本 武	衣笠 一美 大石 雅庸 山本 治雄	大山 豊子 吉田 正博	桜井千鶴子 松井 茂	正木 正義 榎山忠次郎 田中恵美子	山田 貢 福田 弘子 森清 悦侑	清家 照子 炭本 幸子 長尾 芳子	増田 瑞枝 中山 治雄 高倉 旭彦	鈴木フサ子 安藤リフ子 廣 彰子
1988 (S63)	大石 雅庸	中山 治雄 榎山忠次郎 長尾 芳子	鈴木フサ子 寺本 勉	辻本 勇 松井 茂	森清 悦侑 炭本 幸子 白樺 保雄	原尾毅一郎 北川 玉枝 笠井 勝巳	井本 雅代 長瀬 幸子 西 洋子	廣 彰子 増田 瑞枝 内山須美子	湯町 澄子 寺内 寿子 岡 晴子
1989 (H元)	原尾毅一郎	森清 悦侑 辻本 勇 鈴木フサ子	西本 嘉次 寺本 勉	増田 瑞穂 福田 貴穂	笠井 勝巳 炭本 幸子 国本 勝三	長瀬 幸子 湯町 澄子 神田 豊澄	中林よし子 榎本 延子 矢戸 平子	宮村喜志男 佐々木 環 寺内 寿子	竹元嘉代美 根岸 征子 井本 雅代
1990 (H1)	原尾毅一郎	西本 嘉次 宮村喜志男 湯町 澄子	佐々木 環 寺本 勉	中川 浩哉 福田 貴穂	神田 豊澄 津野 輝夫 根岸 征子	中林よし子 竹元喜代美 長谷川一郎	富永 武子 林 美佐子 神尾 芳美	田中 勝 田積 明子 矢戸 平子	福森美代子 山下 暁美 白樺喜美子
1991 (H2)	宮村喜志男	神田 豊澄 田中 福森美代子	津野 久江 木村 好孝	田積 明子 福田 貴穂	松村 正勝 竹元喜代美 富永 武子	長谷川一郎 三宅 郁子 塚本 照子	飯田 文子 房谷紀美子 山下 幸美	荻野 秀雄 神尾 芳美 山下 暁美	中元 和子 野中留美子 土本 初恵
1992 (H3)	田中 勝	長谷川一郎 福森美代子 池本 義雄	荻野 秀雄 木村 好孝	津野 久江 福田 貴穂	神尾 茂美 飯田 文子 松村 正勝	中元 和子 佃 富枝 山下 幸美	大竹由美子 安木 素子 細木紀美子	大崎 武史 塚本 照子 野中留美子	荒木爽千代 辻元 芳子 辻井須美子
1993 (H4)	松村 正勝	中元 和子 大崎 武史 中島 武夫	塚本 照子 木村 好孝	安木 素子 福田 貴穂	池本 義雄 大竹由美子 上善 嶺治	山谷 庄導 南野 紀子 細木紀美子	山下友紀子 上山 京子 西矢 正子	林 恵一 荒木爽千代 蔵元 芳子	新熊みどり 佐藤寿美子 山下 幸美

【担任一覽表】

	主任	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組	11組	12組	
1期生	1	橋本(九)	平山	山田(博)	辰巳	富賀	田中(道)	山田(慶)	森井	板倉	青谷	植野	山内	辻
	2	石香	富賀	森井	板倉	田中(道)	朝山	山内	畑部	小川(宏)	青谷	辰巳	赤塚	国分
	3	"	朝山	富賀	西崎	赤塚	板倉	小川(宏)	辰巳	国分	田中(道)	森井	南(昭)	山内
2期生	1	橋本(九)/寺本	平山	山田(博)	植野	黒木	井上	藪野	船勢	香川	山田(慶)	松浦(友)	八田	藤本
	2	小川(勇)	香川	前田(昭)	藤本	早川	八田	松尾	仲谷	山田(慶)	富山	山田(忠)	来住	黒木
	3	"	山田(忠)	名村	早川	黒木	山田(慶)	渡辺(謙)	高島	山田(博)	富山	藪野	仲谷	松尾
3期生	1		玉井	伊賀崎	小松	畑部	松浦(友)	川上	船勢	長	石上	平山	杉町	青谷
	2	瀬戸	長尾	杉町	深谷	伊賀崎	小松	雨堤	松浦(友)	川上	村上(広)	玉井	西岡	長
	3		伊賀崎	長	青谷	雨堤	小松	深谷	玉井	村上(広)	松浦(友)	山田(博)	川上	山田(忠)
4期生	1	石香/南(武)	国分	南(武)	辻	山本(泰)	福西	浅野	松井	畑部	田中(道)	辰巳	橋本(章)	西崎
	2	南(武)	朝山	渡辺(謙)	山本(泰)	松井	橋本(章)	辻	西崎	関本	簡井	田中(道)	富賀	早川
	3	南(武)/森井	朝山	松井	早川	山本(泰)	渡辺(謙)	関本	田中(靖)	国分	橋本(章)	南(昭)	簡井	富賀
5期生	1	山内	福西	長谷川	松尾	名村	中川	藤本	松下	北村	富山	長尾	仲谷	平山
	2	"	平山	高島	菊田	松尾	黒木	仲谷	福西	松浦(友)	長尾	名村	藤本	中山
	3	香川	仲谷	松浦(友)	高島	中川	名村	赤塚	松下	福西	藤本	菊田	黒木	平山
6期生	1		川上	垣崎	青谷	山田(忠)	杉町	松下	西崎	雨堤	原圃	矢野	瀬戸	山田(博)
	2	深谷	伊賀崎	杉町	武田	田中(靖)	朝山	垣崎	玉井	矢野	青谷	村上(広)	原圃	長
	3		黒木	垣崎	山田(博)	原圃	村上(広)	西崎	長	杉町	富山	川上	矢野	朝山
7期生	1		古田	谷口	南(昭)	板倉	来住	簡井	村上(寛)	辻	松本(正)	国分	富賀	
	2	森井	橋本(章)	谷口	山本(泰)	松本(正)	来住	南(昭)	板倉	丸田	浅野	渡辺(謙)	村上(寛)	辻
	3		古田	国分	谷口	山本(泰)	辻	松本(正)	浅野	渡辺(謙)	来住	早川	村上(寛)	橋本(章)
8期生	1		松下	名村	玉井	長尾	前田(美)	渡邊(和)	山田(慶)	岡本	田中(道)	岸本	福西	小川(勇)
	2	香川	中川	青谷	松浦(友)	仲谷	前田(美)	帯刀	長尾	山田(慶)	岸本	玉井	渡邊(和)	岡本
	3		青谷	岡本	前田(美)	松下	岸本	竹谷	藤本	渡邊(和)	阿本	福西	松浦(友)	仲谷
9期生	1		赤塚	大野	長	山田(博)	伊賀崎	富山	雨堤	深谷	阿形	黒木	川上	——
	2	西崎	杉町	雨堤	松本(正)	川上	山田(博)	阿形	伊賀崎	大野	富山	長	谷口	——
	3		阿形	大野	雨堤	長	杉町	山本(陽)	黒木	谷口	伊賀崎	川上	山田(忠)	——
10期生	1		早川	村上(寛)	簡井	林	南(昭)	来住	渡辺(謙)	山本(泰)	松井	山田(慶)	富賀	朝山
	2	辰巳	南(昭)	別所	早川	簡井	朝山	橋本(章)	村上(寛)	村上(晃)	松井	渡辺(謙)	松下	富賀
	3		南(昭)	松本(正)	渡辺(謙)	山本(泰)	別所	村上(寛)	松下	松井	林	谷口	簡井	橋本(章)
11期生	1		帯刀	吉田(正)	房本	青谷	藤本	渡邊(和)	詫間	神屋	平山	長尾	玉井	古田
	2	赤塚	長尾	神屋	玉井	吉田(正)	詫間	渡邊(和)	岸本	房本	岡本	古田	藤本	村上(寛)
	3		帯刀	神屋	房本	岸本	古田	玉井	簡井	藤本	吉田(正)	別所	詫間	村上(寛)
12期生	1		米田	野口	香川	菊田	田中(道)	辻	増田	前田(美)	西崎	富山	大野	光田
	2	長	野口	香川	米田	内田	光田	原圃	田中(道)	黒木	増田	前田(美)	富山	渡辺(謙)
	3		黒木	光田	増田	大野	長	香川	富山	米田	前田(美)	野口	田中(道)	内田
13期生	1		阿形	藤井	鳥越	林	早川	坂本	市口	橋本(章)/村	三輪	吉田(淑)	武市	来住
	2	板倉	田中(健)	早川	来住	林	三輪	市口	加賀	木村	鳥越	武市	橋本(章)	阿形
	3		来住	雨堤	早川	市口	阿形	木村	林	鳥越	服本	橋本(章)	武市	三輪
14期生	1		松井	谷口	妻谷	中坂	岸本	松本(正)	木島	房本	松浦(紀)	福西	中須賀	詫間
	2	村上(寛)	松浦(紀)	谷口	帯刀	中坂	松井	中須賀	岸本	松本(正)	簡井	神屋	妻谷	木島
	3		岸本	妻谷	神屋	阿形	松本(正)	中坂	松井	中須賀	野口	簡井	松浦(紀)	木島
15期生	1		岡田	大塚	田中(有)	菊田	高松	玉川	別所	藤本	杉田(有)	坂上	鈴木	大野
	2	吉田(正)	詫間	杉田(有)	木村	坂上	鈴木	大塚	大野	岡田	藤本	高松	菊田	別所
	3		岡田	杉田(有)	坂上	木村	早川	野口	詫間	杉田(有)	藤本	大塚	野山	山口
16期生	1		吉元	川村	渡辺(武)	光田	長	内田	伊藤	稲田	吉田(淑)	磯野	山本(陽)	岡本
	2	鳥越	光田	長	吉元	川村	内田	稲田	磯野	吉田(淑)	伊藤	渡辺(武)	山本(陽)	岡本
	3		渡辺(武)	長	磯野	伊藤	稲田	内田	岡本	吉田(淑)	吉元	中坂	光田	川村
17期生	1		阿形	小西	南(昭)	内本	簡井	服部	増田	奥田	杉本	武市	雨堤	田原(久)
	2	三輪	増田	雨堤	武市	香川	田原(久)	吉川	小西	奥田	杉本	阿形	内本	服部
	3		香川	内本	服部	杉本	田原(久)	増田	吉川	奥田	小西	中須賀	雨堤	中川(武)
18期生	1		詫間	田中(有)	塩田	林	田中(健)	西野	北山	湯浅	田島	松本(正)	松浦(紀)	森安
	2	山口	北山	塩田	菊田	林	松浦(紀)	松本(正)	寺本	田中(健)	田中(有)	西野	森安	田島
	3		林	塩田	内田	松浦(紀)	詫間	田中(健)	森安	菊田	北山	西野	田中(有)	松本(正)
19期生	1	岡田	妻谷	楠原	河上	金丸	吉田(正)	杉田(真)	河内	平岡	中川(洋)	中島	橋本(保)	松本(貴)
	2		中島	川村	稲田	橋本(保)	平岡	妻谷	河内	金丸	檜原	中川(洋)	河内	吉田(正)
20期生	1	中川(武)	冠木	伊藤	磯野	請田	田原(伸)	塩野	中川(輝)	中須賀	関本	吉田(淑)	田原(久)	伏井

《文化系部活動 1993 (H5) 年現在》

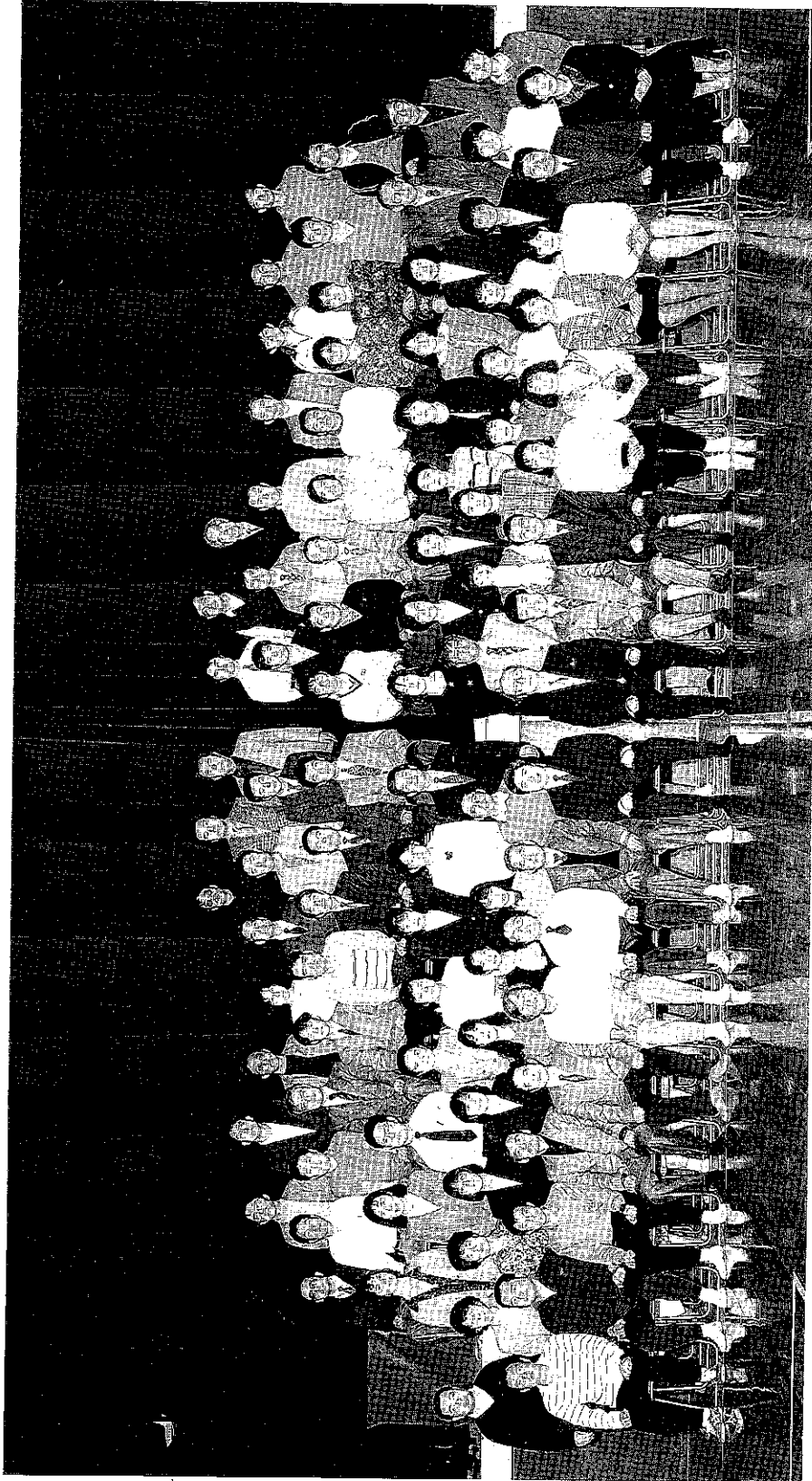
演劇 [1974~]	辻(6) 香川(9) 渡邊和(7) 垣崎 山本陽(2) 藤本(2) 渡辺謙(2) 市口(5) 吉元(6) 田島 関本(2) 中島洋 野口(2) 吉田正 阪本 田原久
吹奏楽 [1977~]	朝山(8) 長尾(12) 橋本章(4) 木島(10) 鳥越(2) 光田 鈴木(3) 伊藤(4) 金丸 平岡(3) 内本(2) 奥田
美術 [1975~]	寺本(19) 長谷川 瀬戸(4) 原 蘭 詫間(8) 雨堤(3) 原 松浦紀(4) 岡本(3) 奥田 田原伸(2) 田中由 藤井 塩田
フォークソング [1975・79~]	川中 西田 矢野 名村 大野 木島(3) 村上晃 前田美(6) 別所(6) 坂本 早川 大塚信(2) 鈴木 内本 中坂(2) 岡田(4) 阿形(2) 磯野(3) 吉田正 佐藤 大川原
ESS 英文タイプ ESS 地歴研究	[1992~] 吉田淑(2) 杉本(2) 大塚明 増田(2) 孝橋 雨堤 [1977~91] 小松(2) 瀬戸(6) 辻(6) 辰巳 山田慶(5) 丸田 古田 杉本(2) 雨堤(3) 妻谷(2) 増田 吉田淑 [1977~9・83~91] 山本泰(3) 吉田淑(6) 山本陽(3) 杉本(3) 大塚明
漫画アニメ 漫画研究 アニメ研	[1975~7・9~] 橋本九(2) 畑部 富賀(6) 平山(6) 筒井 村上晃(4) 松下 松本正(7) 斎藤 佐藤 川村(4) 小川(3) 小西(3) 請田 浅井 詫間 冠木 [1993~] 吉川 林 請田 服部 [1978~92] 仲谷(8) 大屋 渡辺謙(6) 増田(6) 加賀(2) 吉田正 小川勇 大塚信 光田(2) 吉川(3) 田原久 野口 松井治 大野 藤井 [1985・8~92] 村上晃 荒瀬 大野(4) 小川勇(2) 服部(3) 田中由 鈴木 橋原(2) 渡辺武
放送 [1976~]	山田博(8) 杉町(7) 増田(2) 雨堤 香川(7) 平山 来住(2) 長(5) 内本(2) 中川洋 坂上(3) 内田(2) 三輪 橋本保
茶道 [1977・80~]	松井美(8) 藤本(4) 原 蘭 帯刀(3) 浅野(2) 板倉(3) 岸本 稲田(6) 木島(2) 吉元(3) 米田(4) 黒田(2) 井上
現代音楽 [1979~]	中川一(4) 田中道(10) 藤本(5) 早川 中川輝(2) 中島(3) 冠木 関本 伊藤 中須賀 渡辺武
ボランティア [1983~]	赤塚(2) 房本(8) 福西(3) 阿形(2) 光田(2) 中須賀(5) 内本 辻本 森安(3) 岡本 中川洋(2)
箏曲 [1977・88~]	原 蘭 板倉(2) 田中有(6) 大塚信(2) 北山(3) 雨堤 中川武(3) 菊田(2) 三輪

《同好会・サークル活動・1993 (H5) 年現在》

コーラス [1975~88・92~]	森井(7) 長尾(10) 矢野 前田美 雨堤(6) 甲斐 木島 中須賀 橋本保(2) 金丸(2) 関本(2) 河内(2) 阪本
PEC: 7/10 [1981~]	川上(6) 橋本章(3) 神屋(5) 内田 高松(3) 松浦紀(3) 杉田有 武市(4) 渡辺武(2) 伊藤(2) 中坂 中川洋 北山(2) 山口(2) 田原伸 鳥越(2) 川村 来住(9) 浅野(3) 末広 原 蘭 鳥越 杉田真(2) 西野(2) 米田 田中由(2) 塩野(2) 湯浅(2) 奥田

《1993 (H5) 年現在、活動していないクラブ・同好会・サークル》

【囲碁 [1977]】辰巳	【ロック音楽鑑賞 [1977]】中川一	【園芸 [1977]】石香
【古典研究 [1977]】深谷 藤本	【将棋 [1977]】香川 橋本章	【科学研究 [1978]】富賀
【化学研究 [1979]】山田忠	【生物 [1980~3]】福西(4)	【IBC [1982・3]】大野(2)
【軽音楽 [1974~8]】佐竹 長尾(4) 長谷川 垣崎(2)	【手芸 [1974~8]】黒田(5) 浅野 藤本	
【部落研究 [1974~81]】平山(3) 赤塚(2) 村上広(2)	【英語研究 [1977・8]】名村 奥田康 杉町	
【映画研究 [1977・9]】雨堤 松尾(2)	【鉄道旅行研究 [1977~8]】長(2)	
【数学研究 [1977~9]】松尾(2) 大屋 橋本章 森野 川上	【料理研究 [1982・3]】帯刀 青谷 吉田	
【文芸 [1975~82]】藤本(2) 名村(6) 荒瀬 松井美(5) 渡辺謙(2)		
【新聞 [1980~7]】名村(4) 山田博(2) 阿形(7) 赤塚 光田(3)		
【囲碁将棋 [1983~7]】橋本章(4) 筒井(2) 御堂 辰巳 三輪(2) 村上寛(2)		
【写真 [1974~91]】森井(10) 伊賀崎(2) 杉町(3) 福西 筒井(7) 来住(4) 木村 三輪(2) 谷口 河内 橋本保		
【華道 [1977~81・3~92]】北村玲(2) 前田美(3) 辻 原 蘭 大野(9) 米田(6) 帯刀(3) 奥田(2) 西野(2) 杉田真 塩田(2) 雨堤 伏井		



1993年（平成5年）教職員写真

	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	現勤務校	
吉元紀美子																						保 健
中川 輝美																						教 総 務
西野小枝子																						総 保 図 視
森安 雄生																						総 図 視 進
関本 幸子																						総 務
中川 武之																						生 指 1
平岡 宏一																						進 路 指
社 会																						
橋本九二男	1	1	図																			退 職
平山 良彦		生 指			図 視					教 進 路												長 吉 高
赤塚 民三			生 指 進		生 指					1	2	3										府 教 委 主任指導主事
石香 亨		2	3	1																		退 職
畑部 裕		教 務	図																			狭 山 高
雨堤 敏子				保 健		総 教 務				進 路									教 図 総 図			
小川 勇		2	3		総 務			保 健			特 別 講 師											講 師
北村 玲子 (橋本)		生 指	教																			守 口 東 高
早川 友三		講	生 指	教 務		進 路		生 指		進 路												長 吉 高
村上 広行			教	保 教 務																		守 口 北 高
渡辺 謙二			総 務	指 教		生 指																大 手 前 高
関本 幸子				教 務																		茨 木 東 高
高島 弘幸			生 指	総 務																		平 野 高 校 長
田中 靖二				指 総 図																		豊 島 高
矢野 勝彦					保 健 図 視																	豊 中 高
大野木好江					保 健 図 視		進 路		教 務 図 教 務													阿 倍 野 高
松本 正					図 保 健	教 務 図 指		進 路		図 指 生 徒												
阿形 恒秀				講 師		保 健 総 生 指																(派遣先) 鳴門 教育大大学院
吉野 勇二					教																	富 田 林 高 校 長
房本 進吾						保 生 指		教 指														平 野 高
村上 晃美							教 務															府 教 委 参 事
光田 藤一							生 指 図 総															平 野 高
岡田 正雄																						生 指 教 1 2
川村 高明																						総 教 務 図 総
小西 顕治																						生 指 教
湯浅 博																						生 指

	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	現勤務校		
理 科																							
荒瀬 和夫	保 健		教 務			図 視																退 職	
植野 敏郎	指 教 進																					岸和田高	
富賀 肇	保 総 指		総 務 保		総 務 教																	登美丘高	
山田 博	生 指		図 視		生 指																	泉陽高	
朝山 浩和	総 図		指 進		路 保 健																	港 高	
末広 礼二	進 路		教 務																			(私)金光八尾高	
仲谷 隆次	生 指																					西成高	
船勢 省三	総 務																					和泉高	
前田 昭吾	総 務																					貝塚南高(講)	
石上 知良	生 指 教																					鳳 高	
山田 忠男	生 指		教																				大手前高(定)
筒井 完次	生 指		教 務		進 路			総 教 務														藤井寺工高	
福西 浩	指 図		生 指		教 務 保 教																西成高		
松下 元彦	生 指		教 図		指 保 指																羽曳野高		
谷口 房伸	生 指																					西浦高	
野口 俊一									指 教 務		指 進 路												
吉田 正博	生 指		総 1 2 3		図 教 指																		
内田 吉彦	生 指										総 教												
鳥越 啓嗣	図 教 務		1 2 3		教 務																		
三輪 昌孝	指 進 路		図 1 2 3		図																		
杉田 有史	総 図 視 教																					勝山高	
松浦 紀彦	教 務 図 保 進 路																						
坂上 公一	教 務 保 図 視																						
伊藤 眞治	生 指 進 教																						
橋本 保子	指 保 健																						
伏井 信之	教 指																						
冠木 宇治	徒 教																						
保 健 体 育																							
青谷 耕児	保 生 保 教		生 指																			泉大津高	
井上 真也	指 保																					農芸高(定)	
武田 章	生 指		総 保 健		図 総 務 指																(私)初芝高		
菊田 秀子 (石川)	保 健		教 務 総 保 健		図 保 教 務 図 指																		
黒木 秀臣	保 指 保		生 指			図 保 指																池島高	

	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	現勤務校	
古田由太郎							指	教	務	指	総	務										死 去
渡邊 和也							保			生	指											河 南 高
吉田 淑子										保	健		教	務	図	視	教					
神屋 和夫										指	図	保	図	視								河 南 高
増田恵理子										総	務	図	保	健	総	務						
市口 幸男										総	進	路										生 野 高
田中有美子 (岩崎)										総	務	指	総	保	健	総	務					
木村 好孝										図	視	総	務									
妻谷 光治										図	進	路	指	進	生	指						
中須賀敬子										総	務	生	指	生	徒							
杉本 光恵											進	教	教	務	教	総						
鈴木 和子										図	教	務	総									富 田 林 高
内本 雅之															進	路	教	務				
北山 祥子															指	総	教	務				
田島 和久																教	指					府 立 青 年 の 家 指 導 主 事
中川 洋一																生	指	教				
家 庭																						
清 由美子		生	指																			退 職
帯刀多余子 (菊池)			生	指	図	教	図	視	教	図	教	図	教	図								北 千 里 高
奥田真由美																教	指	保	健			
井上 知子																					進	
養 護																						
黒田シマ子						保															健	
実 習 助 手																						
奥田 直美		家	庭																			
中井裕美子			生													物						
小久保智子 (安達)		化	学																			退 職
北村 直子						図										書						
樋下喜美子			化	学																		退 職
北浦智代子						化				学												港 南 高
杉田 京子 (和田)																化				学		

<同推委員長>

平山 良彦 (74・75)

名村 恵史 (76・83)

赤塚 民三 (77~81)

国分 俊夫 (82)

福西 浩 (84~87)

房本 進吾 (88~90)

藤井 克弥 (91・92)

小西 顕治 (93)

【講師】（「*」印は期限付講師・産休講師・育休講師期間を含む講師、本校が配置校であるA. E. T.）

国語	大岡加寿子 (75)	藤井美智子 (75)	川久保明美 (76)	*永淵友季子 (76)
和田 忠明 (76)	蔭山 恭子 (77)	対島 洋子 (78)	平松 綾子 (78)	*上笹 敦子 (78-90)
金定 典子 (79)	谷 知勢子 (79)	芝田 文子 (79)	長田 初子 (80-3)	*堀内佐容子 (82・3・6・7)
*三苫 利光 (84)	*御堂 孝昭 (85)	森 保隆 (85)	今井喜美江 (85)	西川 陽子 (85)
亀田久美子 (87)	藤本 幸二 (88)	森 克之 (89)	大島 麻紀 (91)	*辻本 尚子 (89-93)
川北 百合 (91)	河合 千佳 (92)	田中 馨 (93)		
社会	武部 正夫 (74)	*岡山 昭道 (76-8)	春永 幹夫 (77・8)	北野 吉伸 (81)
松島 真理 (82)	関口 靖之 (83)	*小田 昭善 (83)	高津 吉辰 (86)	北村大桂司 (86)
西上 毅 (85-7)	*齋藤 光正 (87)	*佐藤 浩史 (88・9)	江口 祐一 (88)	*尾大 徹 (89)
三好 (辻井) 悦子 (90・1)		*田中由起子 (90-3)	中村 豊 (93)	
数学	中沢 一 (76)	奥田 豊 (76)	池野 雅与 (77)	三浦加津子 (77)
紙田 春夫 (78)	*鳥越 (逆瀬) 良子 (78・9)		鯉川 英昭 (79)	*松下 千明 (80)
和泉 礼二 (81)	斎藤 仁保 (81)	*金銅 章好 (80-3)	沼田 充史 (81)	乾 有子 (82・3)
*井坂 宗充 (83)	兵部 雅彦 (84)	*中村 章 (84・5)	泰 成光 (85)	寺下 公章 (86)
飯田 豊彦 (86)	奥村 林蔵 (86-8)	亀井 秀則 (89~91)	日原 光彦 (89)	*西門 宏子 (91)
*島川 直子 (92)	佐谷野紘子 (92・3)			
理科	土井 一久 (76)	竹川 元章 (76)	古田 英文 (78)	目 康夫 (79)
守本 隆保 (78-80)	青木 隆 (80・1)	*木村 和男 (80-3)	*山下 敬介 (82)	竹見 紳一 (84)
池田 昌弘 (84-7)	田畑 滋久 (84・5)	中西 聡子 (85)	矢野富士夫 (85)	谷本 理 (88・9)
中村都史江 (89-91)	溝口 恵司 (90)	盛山 武祥 (91・3)		
保健体育	渡辺富美子 (74)	吉田五十鈴 (74)	服部 幸 (76)	玉井 (竹下) 祥子 (76)
山口 健一 (76)	中島 滋泰 (76)	土井 暢哉 (76)	根本 道世 (77)	杉野美智子 (77-80)
上野 訓史 (79・80)	岡山 智美 (81-4)	松浦 昭彦 (81-3)	平川 浩子 (85)	望月 香 (85・7)
秋田 泰史 (86)	*永井小百合 (86)	*小澤 千晶 (88-90)	堀内由貴子 (90)	小林 美香 (91)
浜野 豊 (91)	矢野 直子 (92-3)	渡邊 一正 (93)		
芸術	井関 啓 (76-8)	佐野 史子 (79)	田中由喜子 (81・2)	金丸美由紀 (88)
川中 康子 (88)	<以上 音楽>	北島 博 (74)	上田 敬文 (77)	<以上 美術>
島田 まり (74-6)	陰山知代子 (88・91)	森田 智美 (92)	<以上 書道>	
家庭	以倉 淳子 (75-87)	小林 英子 (75)	山口 志都 (78)	*大島 幸子 (80)
房本 (中谷) 佳代 (82-4)		橋本 尊子 (85)	長尾 春美 (86)	米田 冷子 (88-91)
深田 満香 (91)	中村すみゑ (92)			
英語	横井 正昭 (74)	石原 光 (74)	槽谷 博子 (75)	前田 正和 (76・7)
西村 光生 (76)	川野 道生 (76)	*西田 幸雄 (76-9)	*影山 恵則 (78)	渡辺 (阪上) 伸子 (78-83)
飯田 治夫 (78)	*芝 郁郎 (79)	*村井 宗行 (80)	新田 裕子 (80-4)	*岡本 耕一 (81)
柳本 光世 (81)	*服部 法住 (81)	*吉村 直哉 (82)	*山本 明司 (83)	高浦 玲子 (84)
*甲斐 正子 (85)	*小林 道雄 (85)	佐田 美恵 (85)	早川 (西野) ひろみ (87)	
*山下 良材 (87)	内本 由美 (86・8~92)		*長橋 昌子 (87)	*栗栖 芳郎 (87)
*今枝 恒雄 (88)	稲垣 整 (88・9)	安 (中山) 和子 (88)	山根 矩昭 (88)	*高繁 勝彦 (88-90)
*大塚 明子 (91・2)	*松井 治樹 (92・3)	浅井 陽子 (92)	佐藤 尚美 (93)	孝橋 明子 (93)
A. E. T.	INGRID WISNIEWSKA		*ANTHONY J. CROOKS (82/9-83/8)	
STEPHEN M. RYAN (85/1-3)	KARYN MCCARTONY (87/1-8)		JAMES STROCHAN (89/4-8)	
ROBERT J. GARRITY (90/4-7)	*ALISON M. SUETT (90/8-91/7)		*SHELLEY M. KEACH (91/8-93)	
助手・補助員・特別嘱託員	長谷川 檣子 (教務事務: 75-93)		田吹 賢司 (事務: 76)	
橋目 安世 (事務: 77-8)	大菅由美子 (家庭: 78-93)		沢口 許子 (家庭: 79-80)	
細田 満代 (家庭: 80)	*高須 澄子 (事務: 82; 理科: 83)		松野 力 (特別嘱託員: 88-91)	

